

表 1

昭和27年(1952年)10月1日現在 香川県農業年報(昭和27年) 資料編  
 香川県農業年報(昭和27年) 資料編(昭和27年) 資料編(昭和27年) 資料編  
 (単位:千円)

品名	単位	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
米	kg	147	23	3381	147	23	3381	147	23	3381
小麦	kg	210	26	5460	210	26	5460	210	26	5460
大豆	kg	432	24	10368	432	24	10368	432	24	10368
粟	kg	284	20	5680	284	20	5680	284	20	5680
雑穀	kg	820	13	10660	820	13	10660	820	13	10660
飼料	kg	515	10	5150	515	10	5150	515	10	5150
畜産	kg	170	27	4590	170	27	4590	170	27	4590
野菜	kg	408	22	8976	408	22	8976	408	22	8976
果物	kg	103	16	1648	103	16	1648	103	16	1648
畜産	kg	104	22	2288	104	22	2288	104	22	2288
畜産	kg	180	10	1800	180	10	1800	180	10	1800
畜産	kg	9	13	117	9	13	117	9	13	117
畜産	kg	2000	21	42000	2000	21	42000	2000	21	42000
畜産	kg	18	2	36	18	2	36	18	2	36
畜産	kg	213	22	4686	213	22	4686	213	22	4686

～資料編～

# 1 健康づくりに関する市民意識調査

## 1. 実施方法

■実施日 平成 29 年(2017 年)11 月 1 日～11 月 24 日

■配布人数 3,000 人 (20～79 歳を年代別、性別、校区別に人口比率に合わせ無作為抽出)

■有効配布数 2,985 人 (転居先不明での返送等 15 人)

	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	計	宛先 不明	有効 配布数
本山	13	24	31	20	34	25	147	0	147
赤崎	32	29	37	36	47	29	210	0	210
須恵	55	55	88	68	88	74	428	4	424
小野田	42	54	55	47	66	60	324	2	322
高千帆	64	109	104	66	111	73	527	3	524
高泊	20	25	57	24	53	40	219	1	218
有帆	18	20	29	26	49	37	179	0	179
厚狭	62	78	79	76	100	93	488	2	486
出合	15	12	28	28	26	18	127	0	127
厚陽	11	12	16	14	26	25	104	1	103
埴生	10	17	40	38	47	31	183	1	182
津布田	5	10	13	14	13	9	64	1	63
計	347	445	577	457	660	514	3000	15	2985
宛先 不明	0	1	3	4	5	2	15		
有効 配布数	347	444	574	453	655	512	2985		

## 2. 回収人数と回収率

■回収人数 1,356人

■回収率  $1356/2985=45.4\%$

### <校区別回収率>



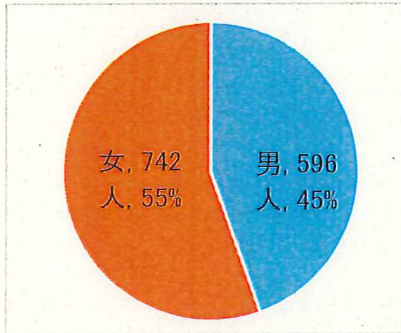
## 3. 調査結果

### ■注意事項

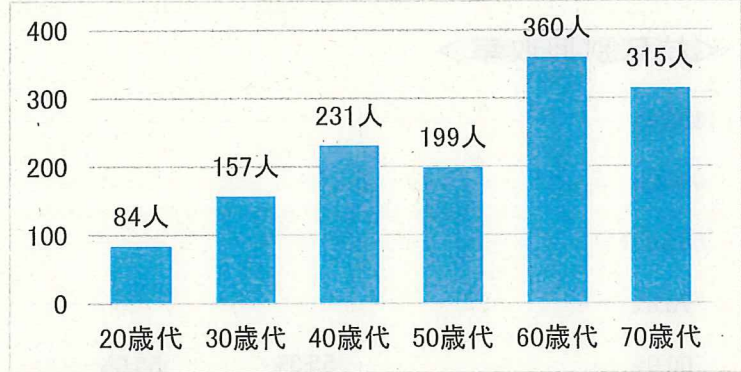
回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本計画書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

## 【基本属性】

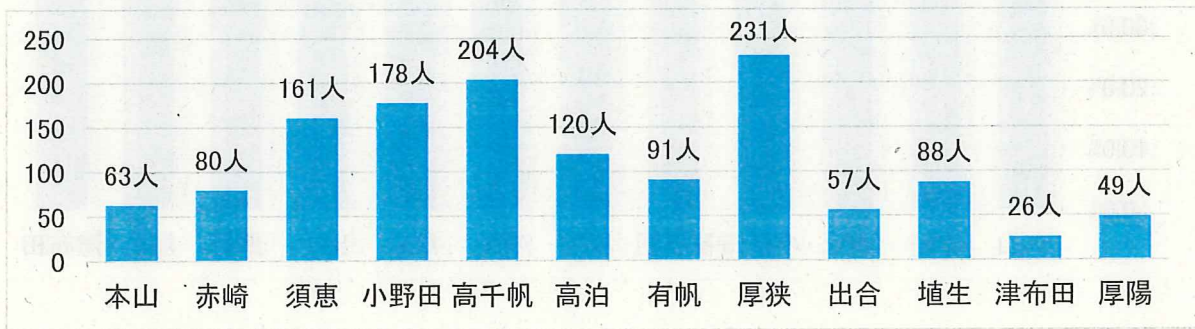
(問1) 性別



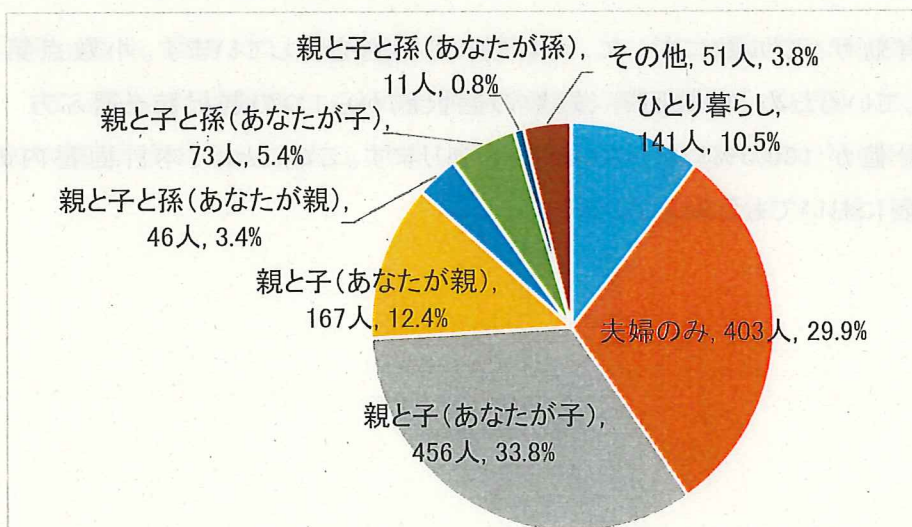
(問2) 年代



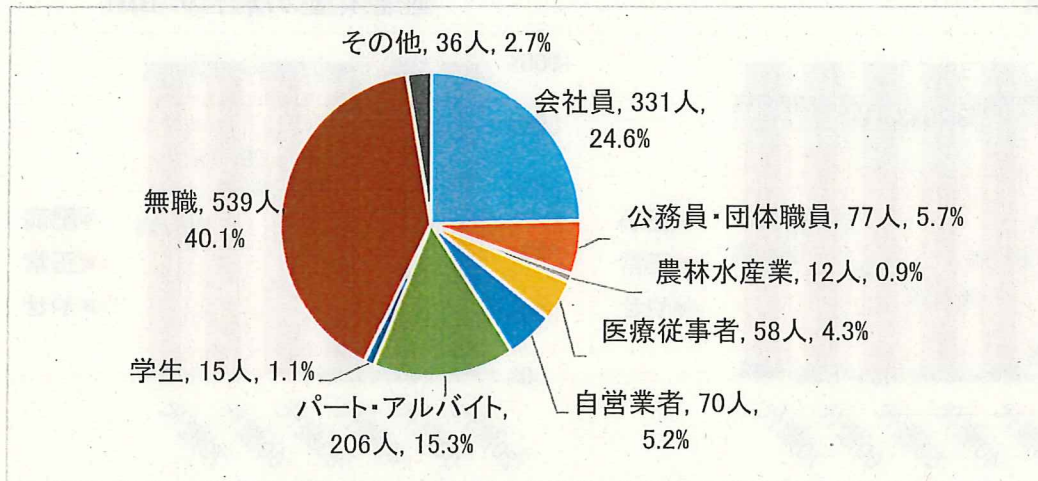
(問3) お住まいの校区



(問4) 家族構成

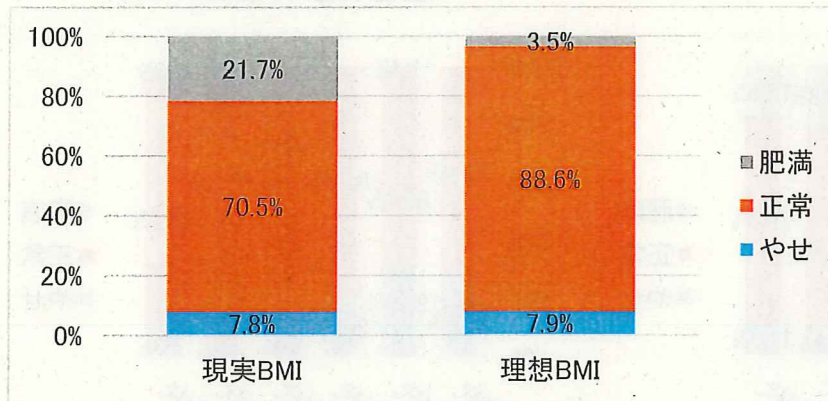


(問 5) 職業



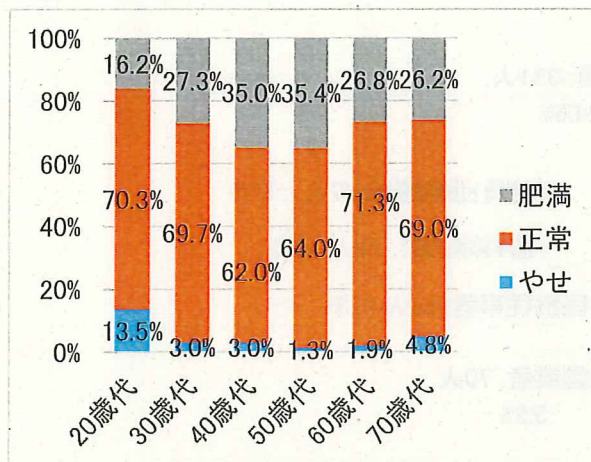
(問 6) あなたの実際の身長・体重と理想と思う身長・体重をおしえてください。

<現実のBMIと理想体重の場合のBMI>

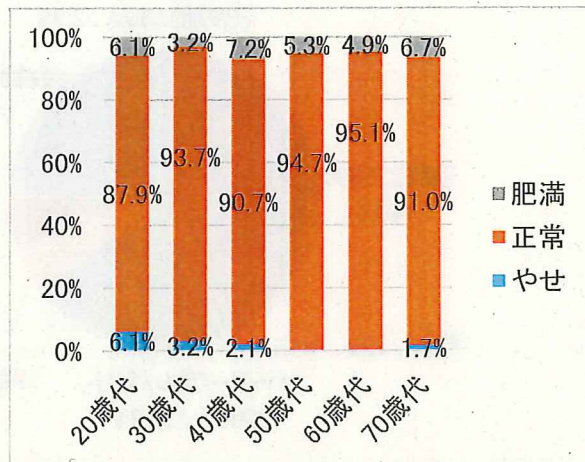


## <男性年代別>

現実の BMI



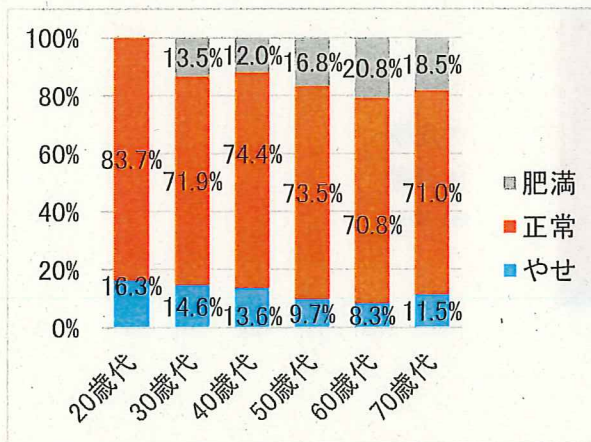
理想体重の場合の BMI



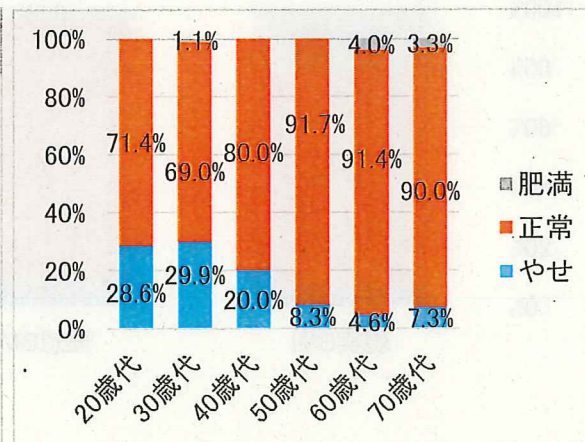
男性は40～50歳代の3人に1人が肥満に該当していた。20～60歳代男性の肥満者の割合は29.4%で、健康日本21の目標値である28%に達していない。理想とする体重はどの年代も約9割の方がBMI基準値内の値を答えていた。

## <女性年代別>

現実の BMI

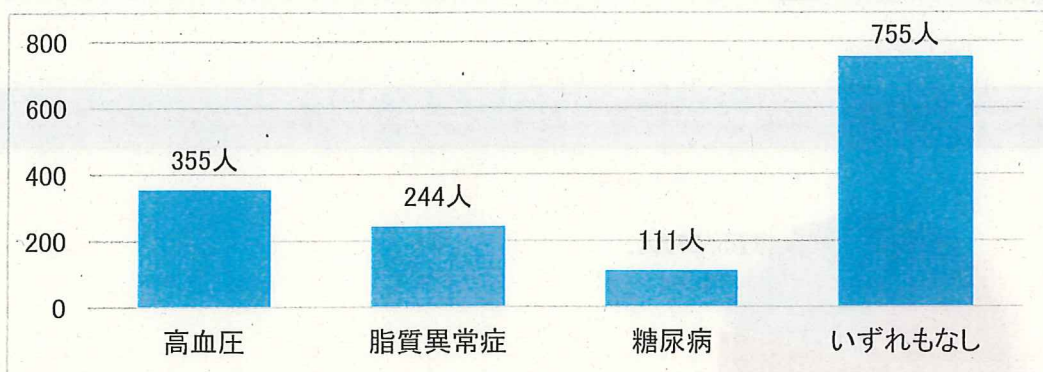


理想体重の場合の BMI



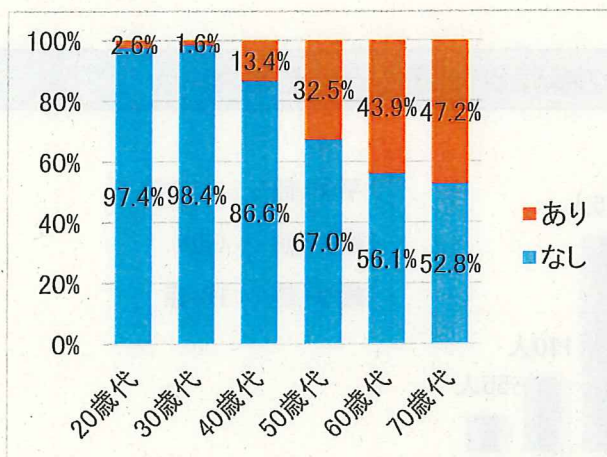
40～60歳代女性の肥満者の割合は17.2%、20歳代女性のやせの者の割合は16.3%であり、健康日本21でのそれぞれの目標値である19%、20%をすでに達成できていた。また、20歳代の28.6%、30歳代の29.9%、40歳代の20.0%がやせの体型を理想と答えていた。

(問 7) 持病

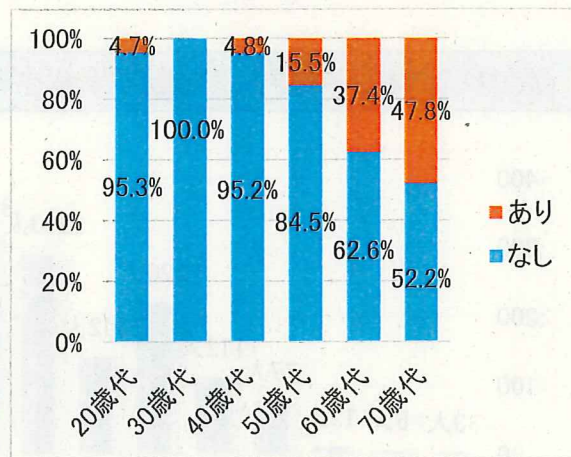


<高血圧>

男性年代別

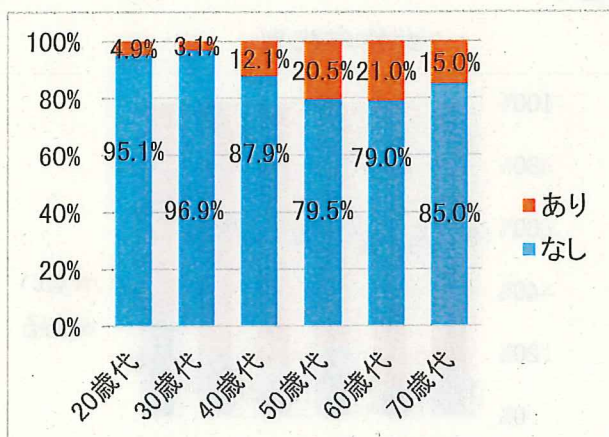


女性年代別

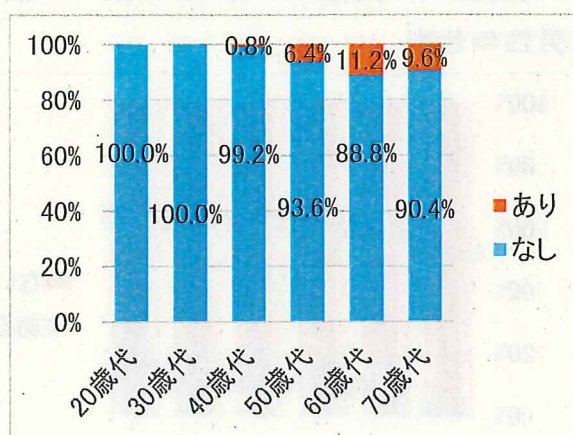


<糖尿病>

男性年代別



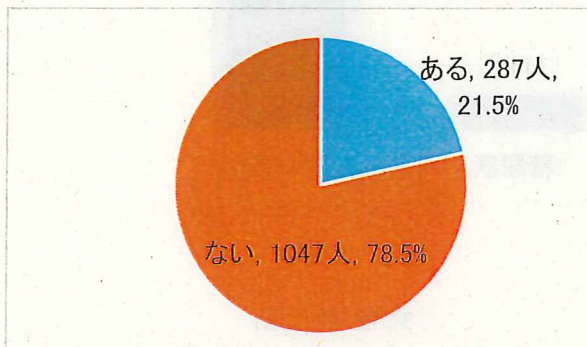
女性年代別



各疾患とも有病率は、男性が40歳代、女性が50歳代から増加傾向で、年齢が上がるにつれて上がっていた。

## 【健康状況について】

(問 8) あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。



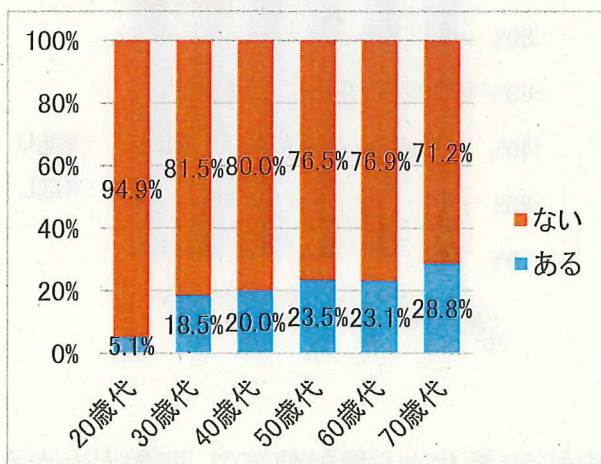
(問 9) あなたの現在の健康状態を10点満点で表すと何点ですか。



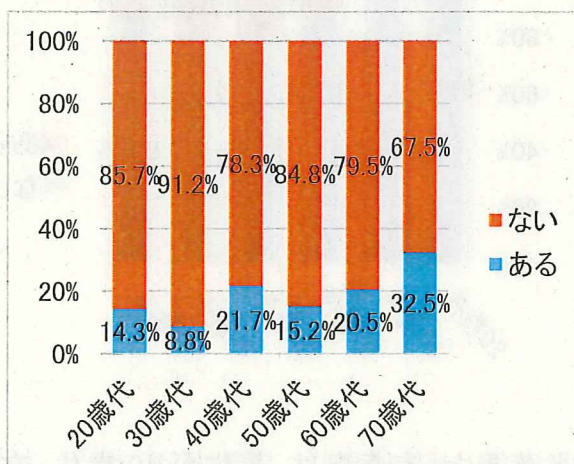
平均値： 6.52 点  
 最小値： 0 点  
 最大値： 10 点

### <健康上の問題での日常生活への影響>

男性年代別



女性年代別

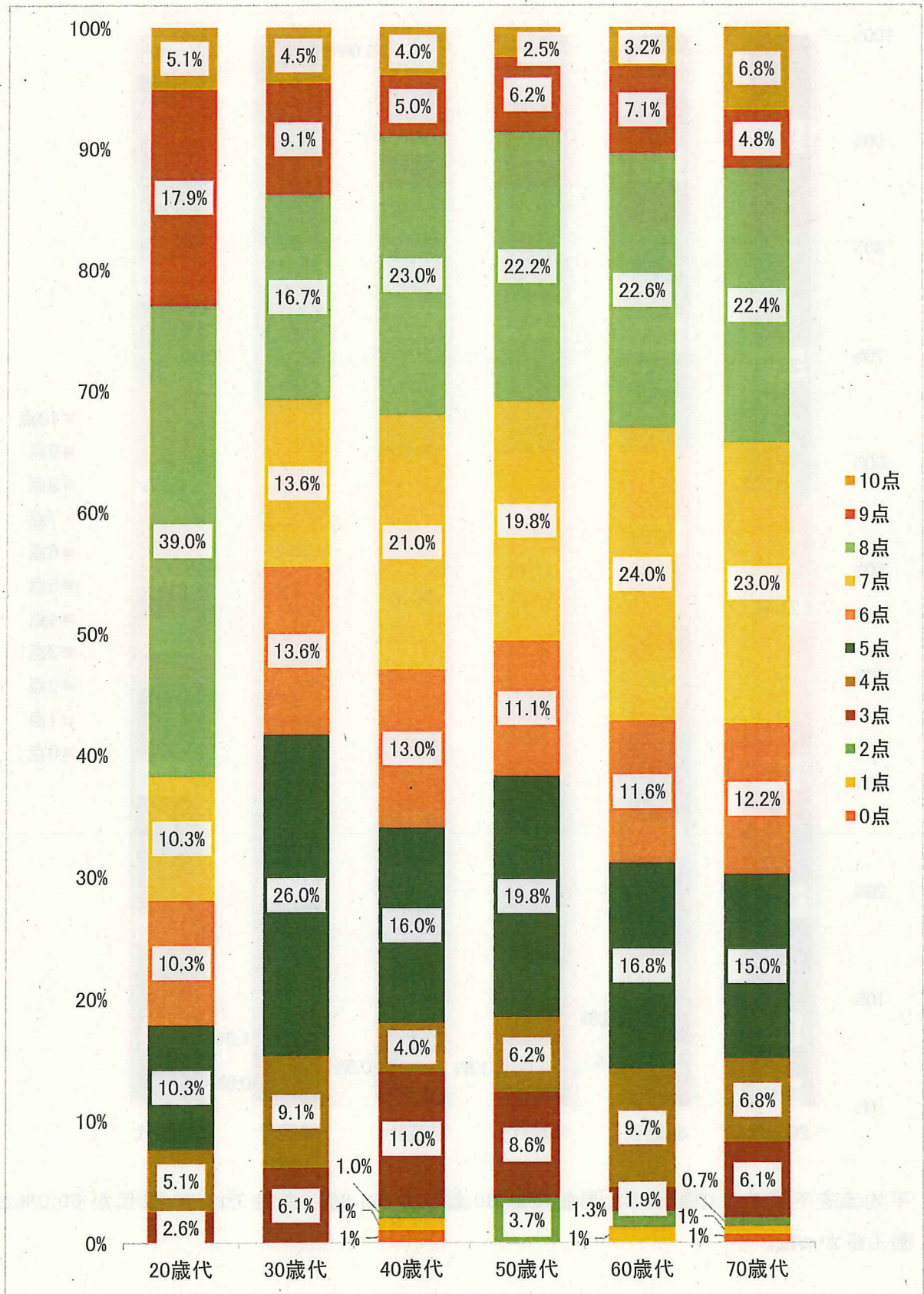


男性は30歳代以降、約2割の方が影響ありと答えており、年齢が上がるにつれて割合は増加していた。女性は30歳代が最も低く8.8%、70歳代が32.5%で最も高かった。

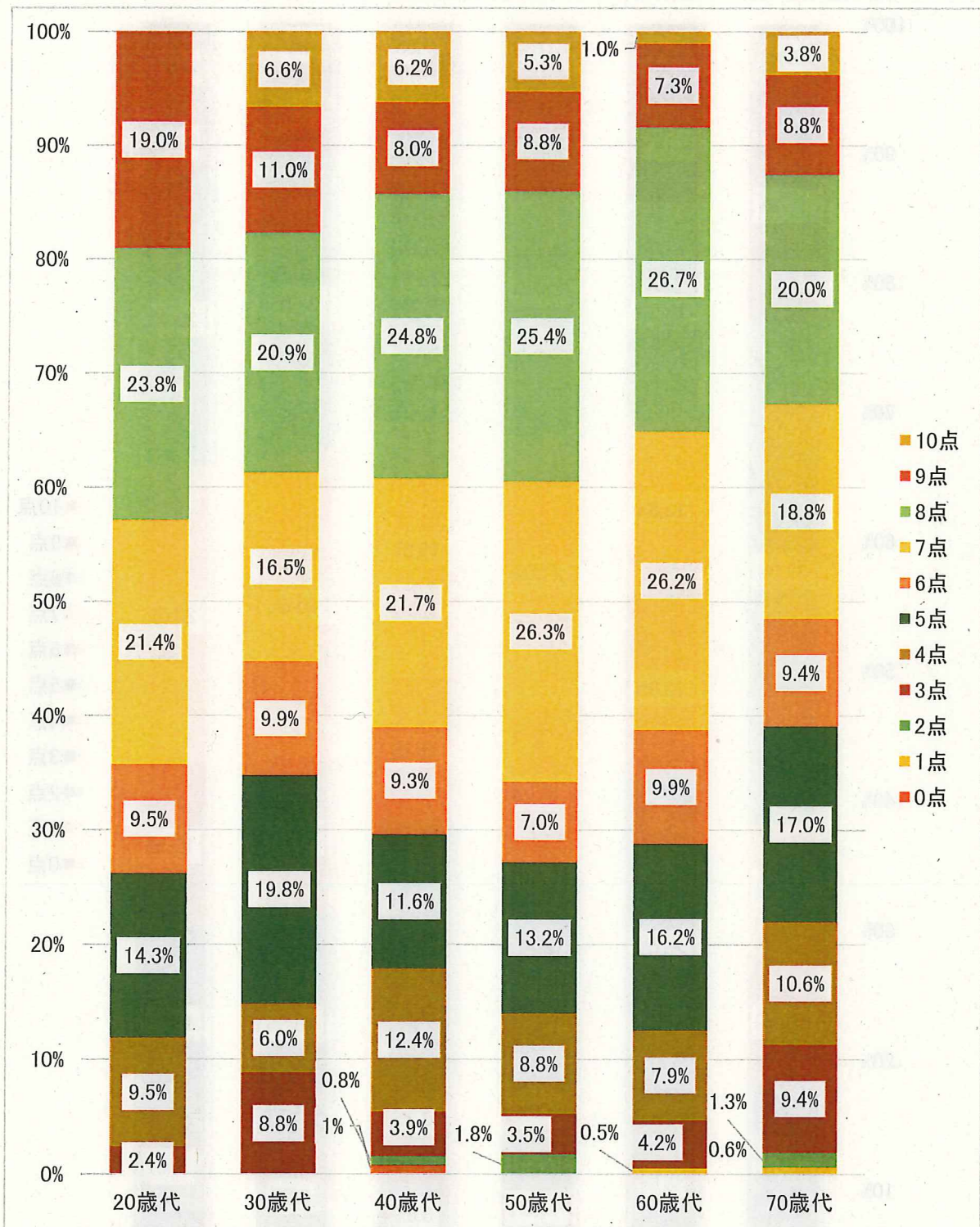


<主觀的健康感>

男性年代別

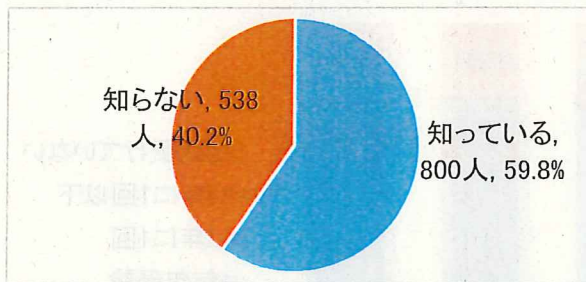


女性年代別



平均点を下回る人の割合は、男性では30歳代が54.8%、女性では70歳代が60.0%と最も多かった。

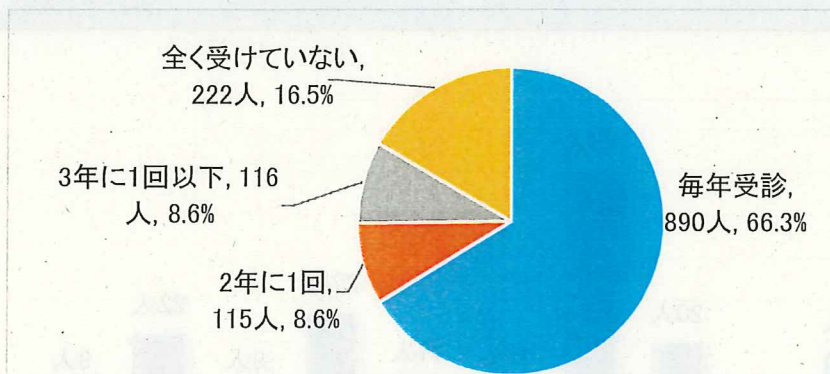
(問 10) あなたは平均寿命と健康寿命の違いを知っていますか。



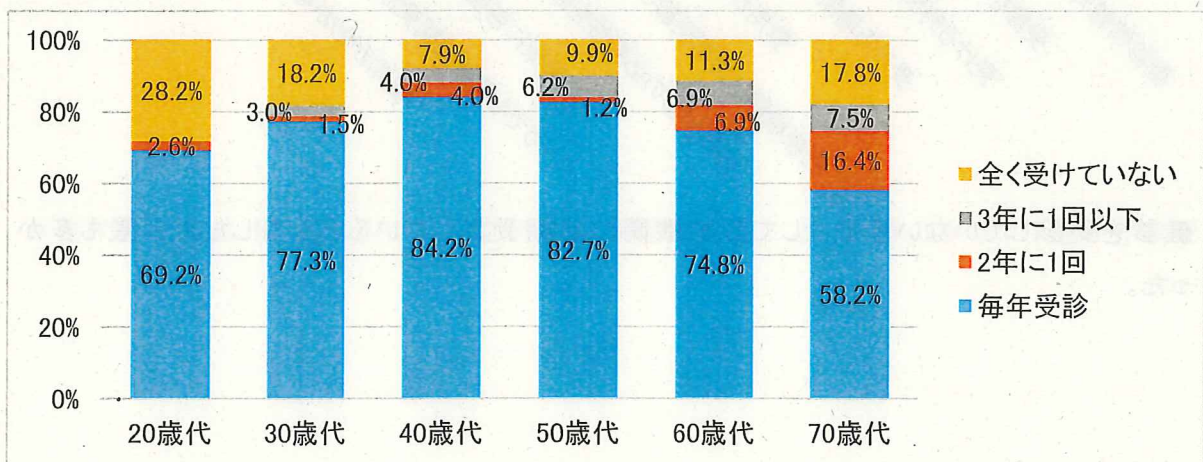
健康寿命と平均寿命の違いを知っている人は6割程度だった。

### 【健診(検診)の受診について】

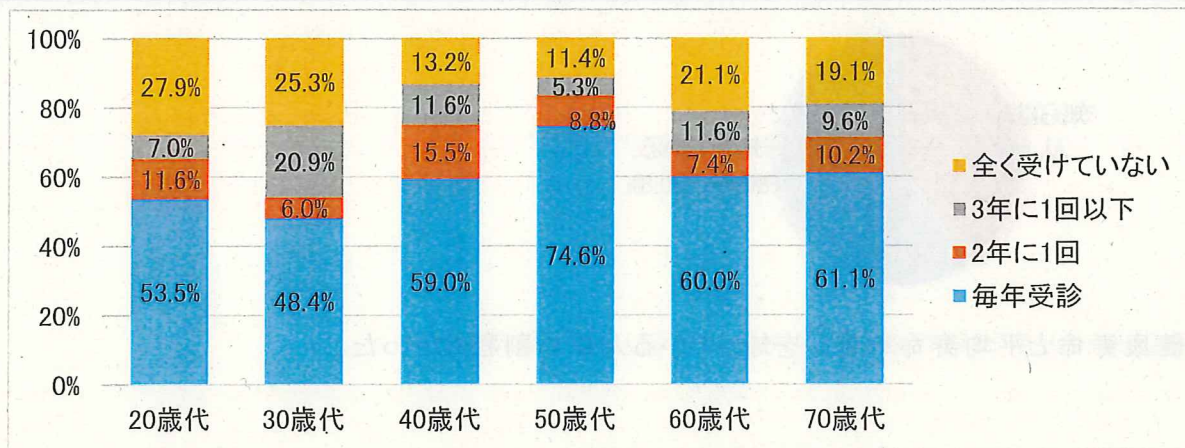
(問 11) あなたは健診(がん検診を除く一般健診・健康診査)を受けたことがありますか。



#### 男性年代別

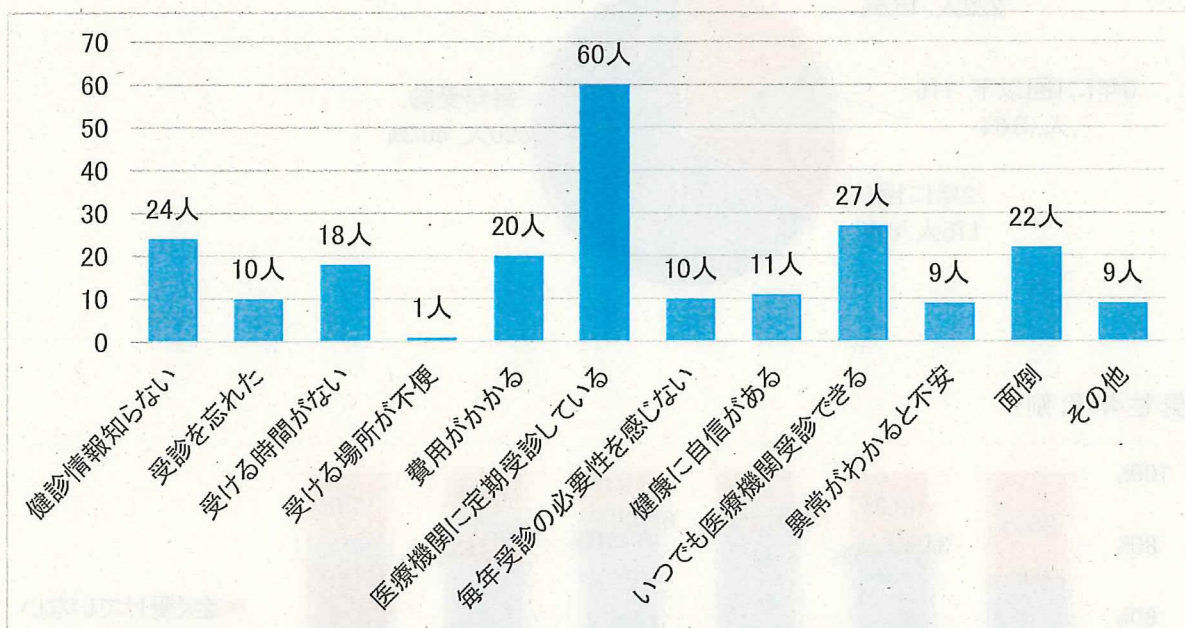


### 女性年代別



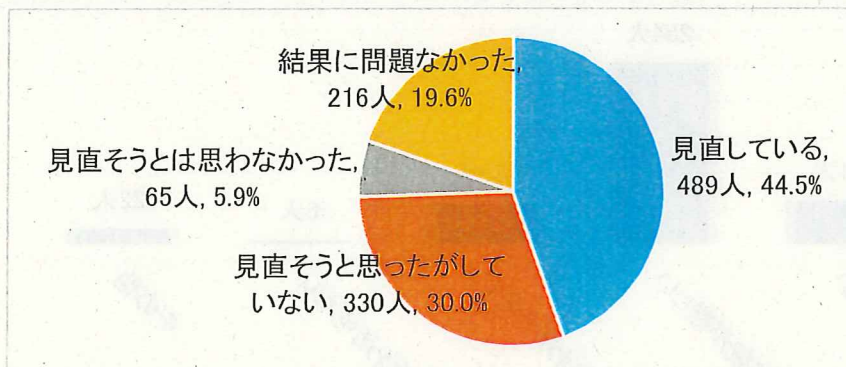
60歳代までは女性に比べて男性の方が毎年健診を受診している人の割合が高いが、70歳代はほぼ等しくなっていた。

(問 12) 問 11 で「4 全く受けていない」と答えた方で、最もよくあてはまる理由はどれですか。 (n=222)



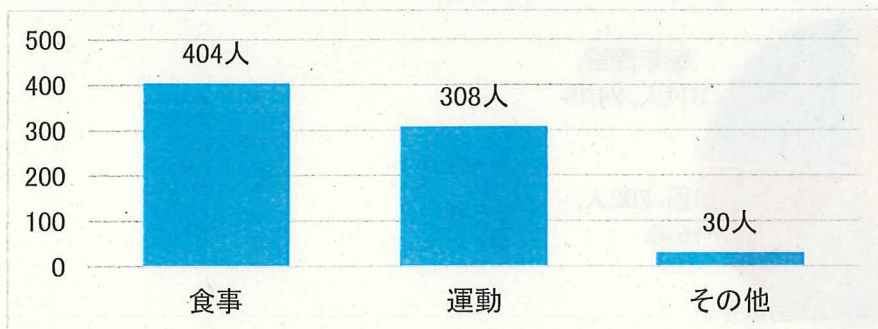
健診を受診していない理由として医療機関に定期受診していると回答した方が最も多かった。

(問 13) 問 11 で「1 毎年受けている」「2 2年に1回は受けている」「3 3年に1回以下」の場合、あなたは、健診の結果を受けて、生活習慣を見直していますか。 (n=1,121)



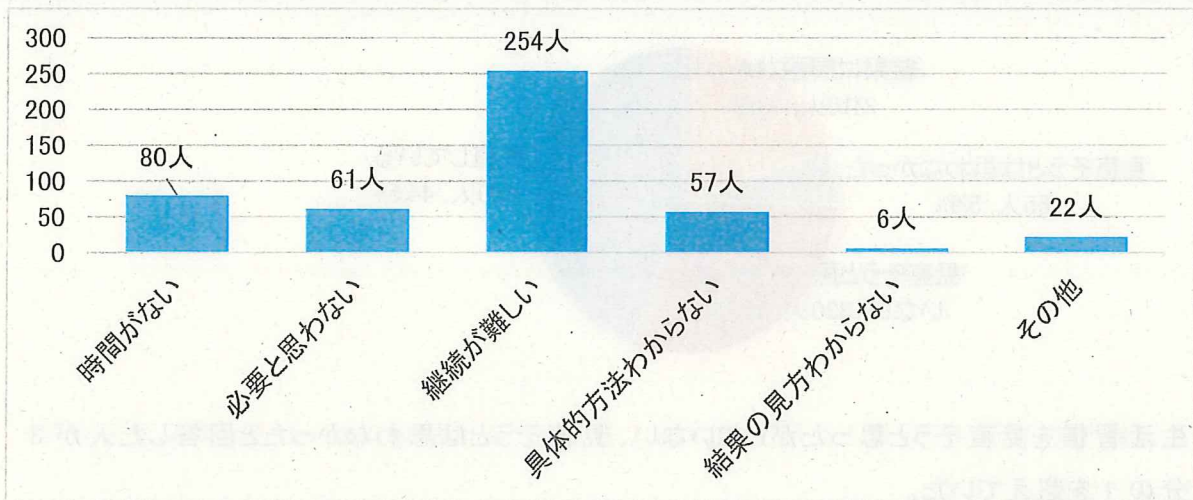
生活習慣を見直そうと思ったがしていない、見直そうとは思わなかったと回答した人が3分の1を超えていた。

(問 14) 問 13 で、「1 見直している」の場合、以下のどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 (n=489)



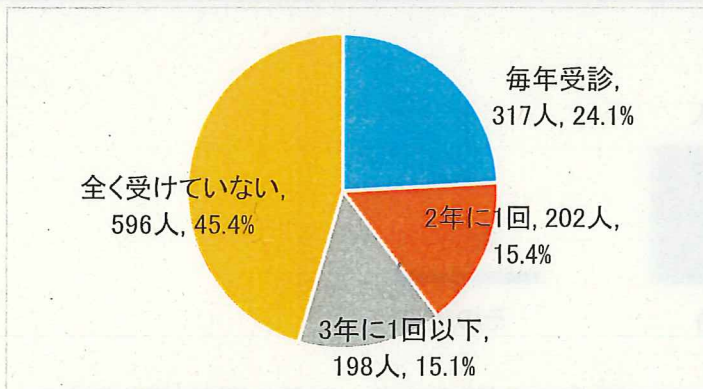
健診受診後に実際に見直されている生活習慣の改善内容は、食事と運動が大半を占めていた。

(問 15) 問 13 で、「2 見直そうと思ったがしていない」「3 見直そうとは思わなかった」の場合、その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(n=395)

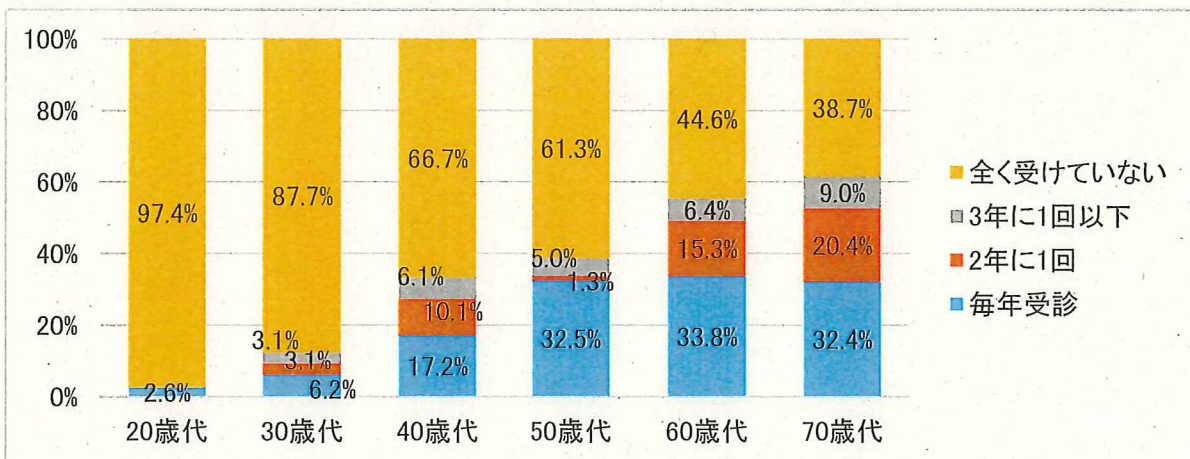


生活習慣の改善が困難な理由として、継続が難しいと答え方が最も多かった。

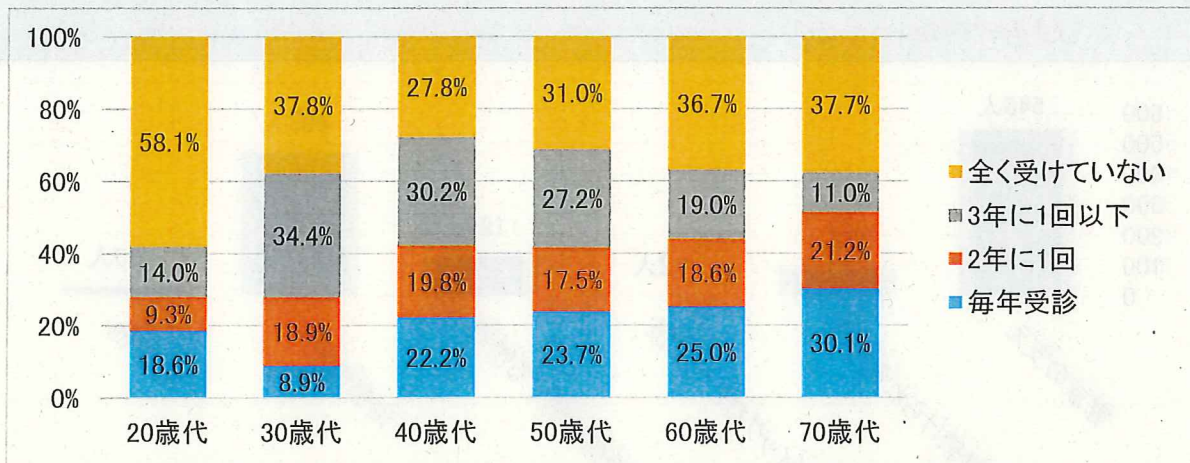
(問 16) あなたはがん検診を受けたことがありますか。



男性年代別

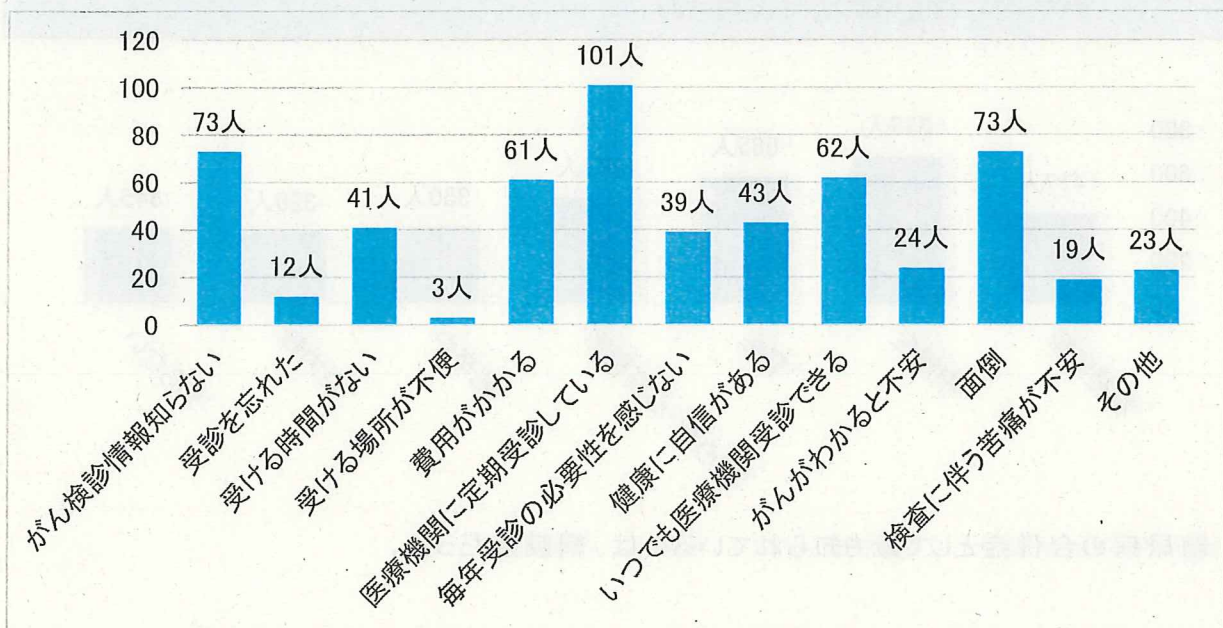


女性年代別



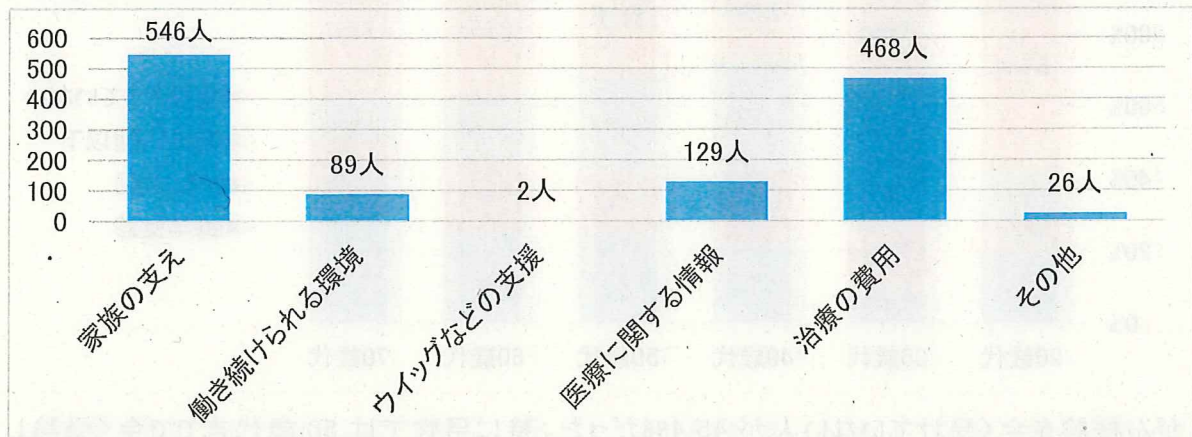
がん検診を全く受けていない人が45.4%だった。特に男性では50歳代までで全く受診していない人が半数を超えていた。

(問17) 問16で「4 受けていない」と答えた方で、最もよくあてはまる理由は何ですか。(n=596)



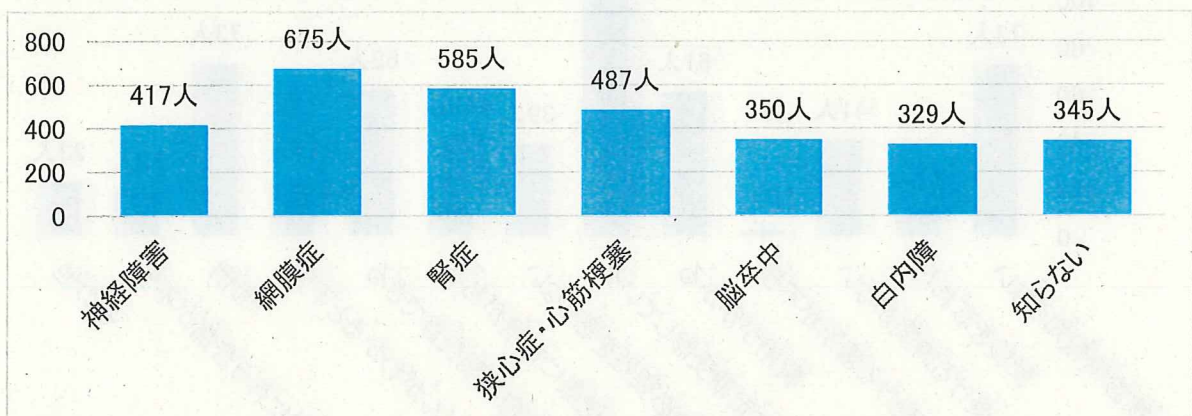
がん検診を受けない理由として、医療機関に定期受診していると答えた人が最も多かった。

(問 18) あなたが、がんになっても自分らしく生活できるために最も必要な支援は何ですか。



がんになっても自分らしく生活できるために最も必要な支援は、家族の支えが最も多く、次いで治療の費用だった。

(問 19) あなたは糖尿病の合併症について知っていますか。合併症だと思うものすべてに○をつけてください。

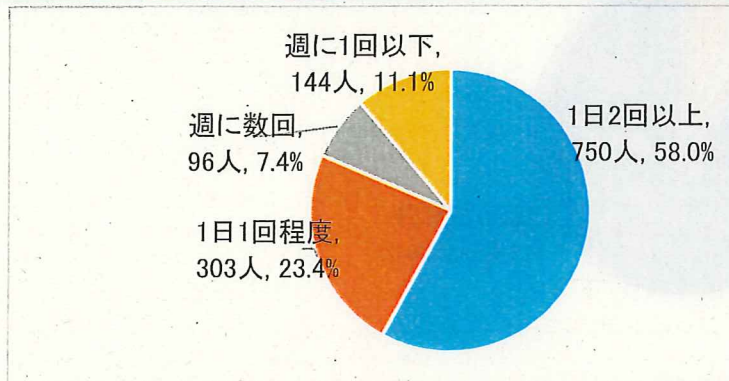


糖尿病の合併症として最も知られているのは、網膜症だった。

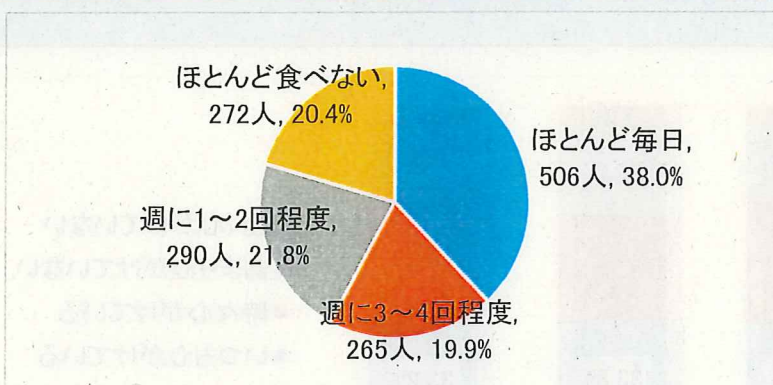


## 【栄養・食生活について】

(問 20) あなたが家族や知人と食事を共にする頻度はどのくらいですか。

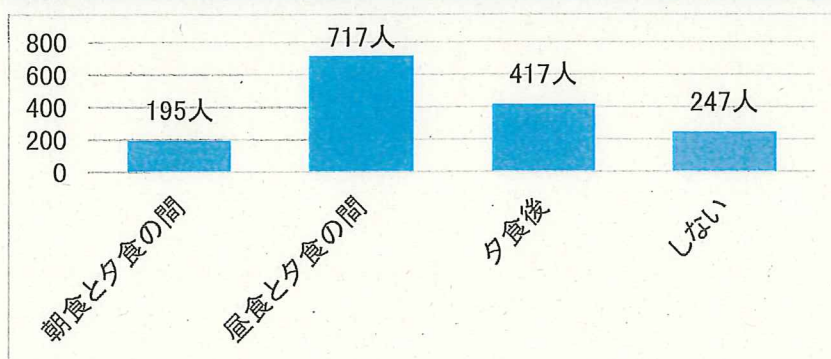


(問 21) あなたはどのくらい間食をしますか。



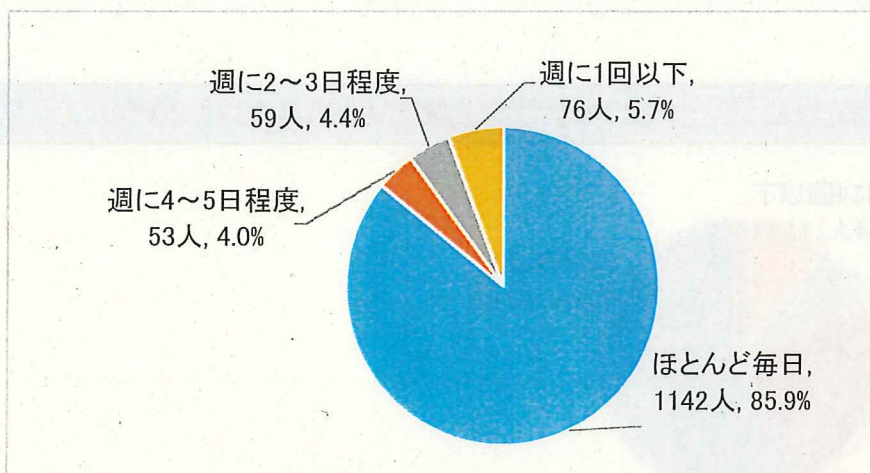
約 8 割の方が間食を摂っていた。

(問 22) あなたは間食・夜食をいつしますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



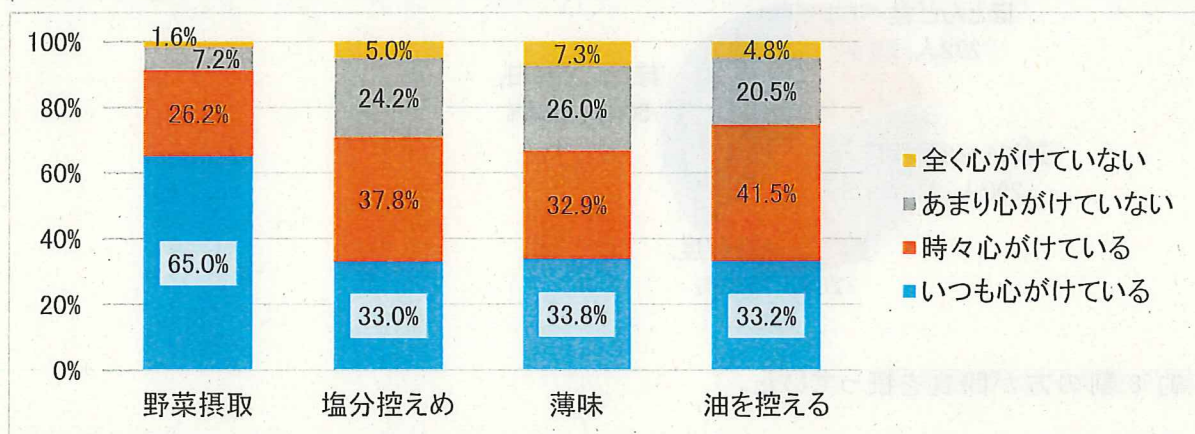
昼食と夕食の間に間食を摂っている人が最も多かった。

(問 23) あなたが朝食を食べる頻度はどのくらいですか。



朝食を食べないことがある人が 14%いた。

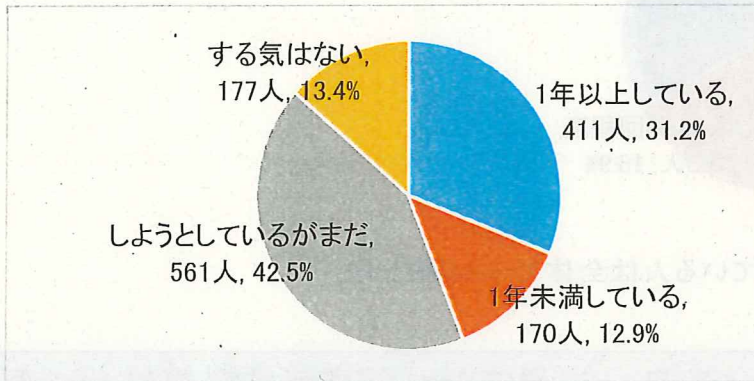
(問 24) あなたは以下のことについて、どの程度心がけていますか。(各項目につき、○は1つ)



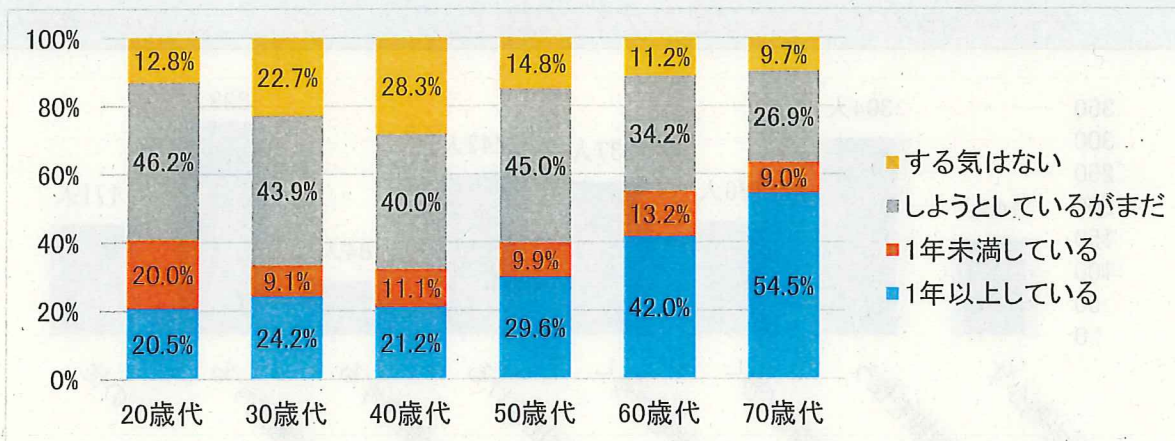
野菜接種を心がけている人が最も多かった。

## 【身体活動・運動について】

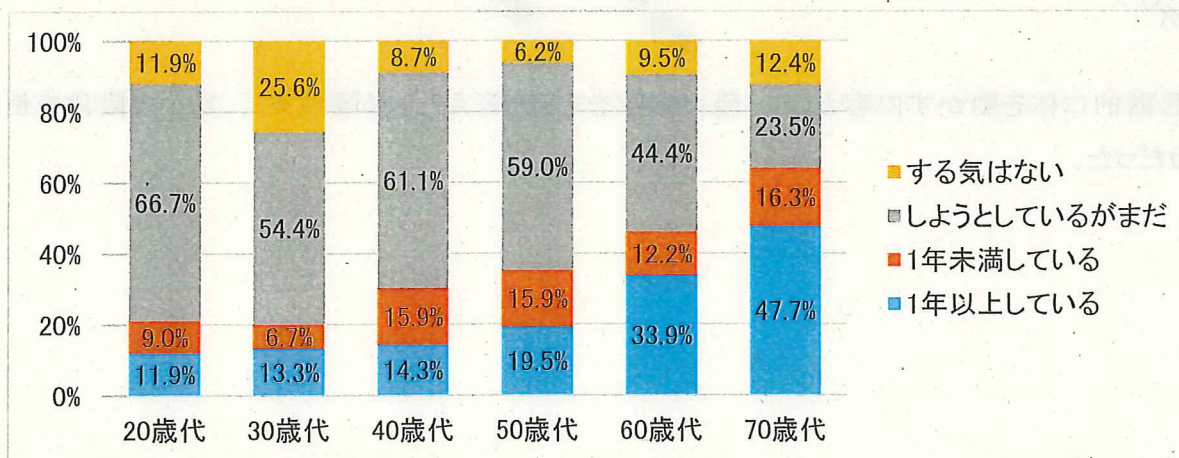
(問 25) あなたは1日30分以上の軽く汗をかく運動を、週2回以上していますか。



### 男性年代別

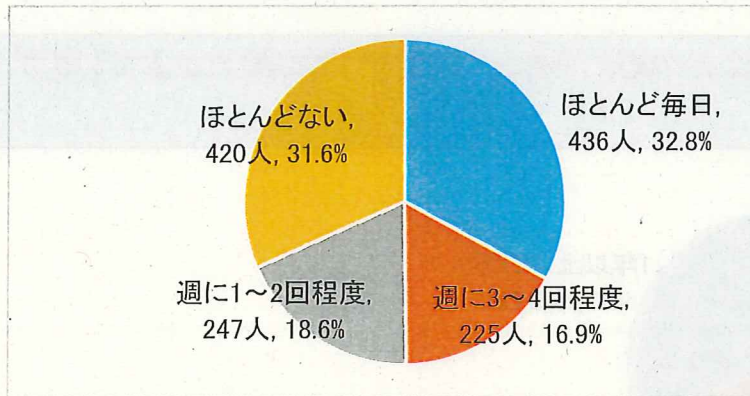


### 女性年代別



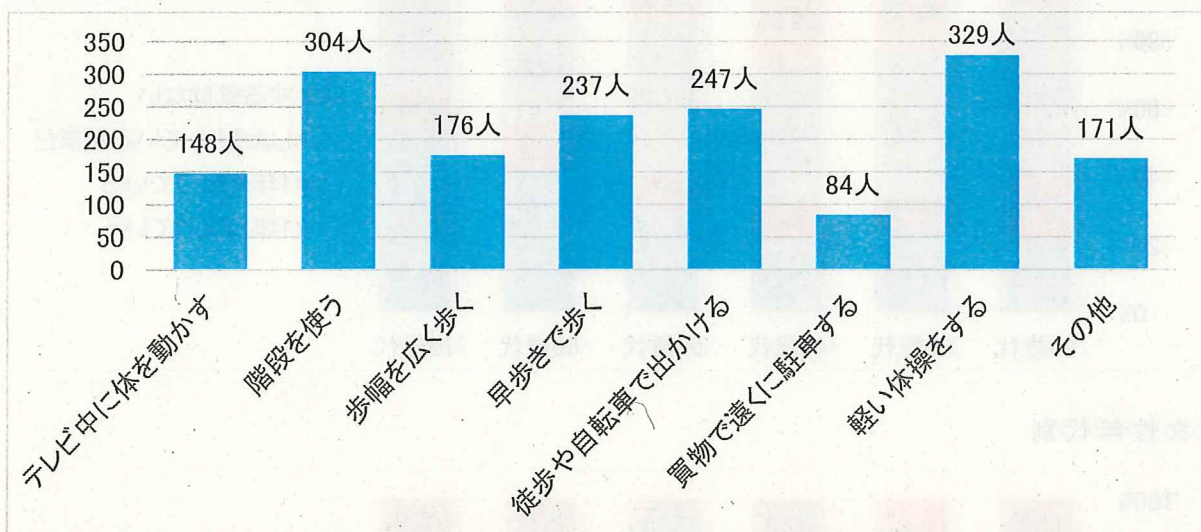
運動習慣がある人の割合は44.1%で、男性に比べ女性がやや低い傾向だった。また、しようとしているがまだ行っていない人が42.5%だった。

(問 26) あなたは日常生活で健康維持増進のために意識的に体を動かすよう心がけていますか。



意識的に体を動かすよう心がけている人は全体で 68.4% だった。

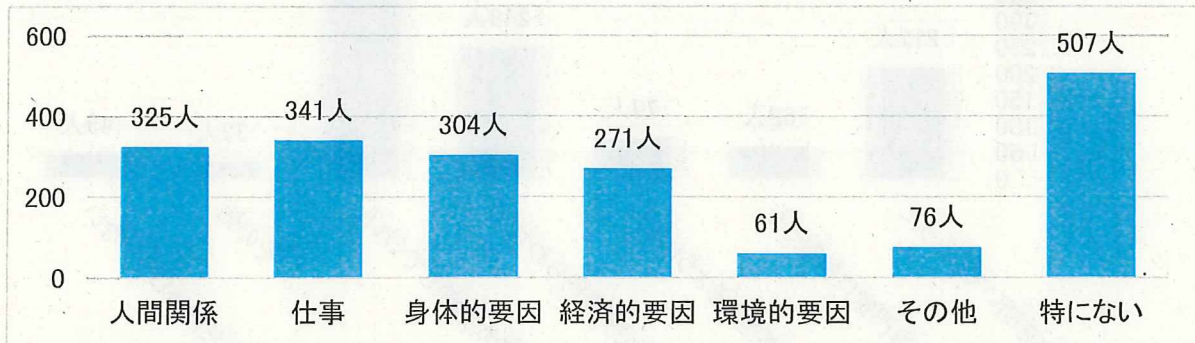
(問 27) 問 26 で「1 ほとんど毎日」「2 週に 3~4 回程度」「3 週に 1~2 回程度」の場合、あなたは日常生活でどのように体を動かしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 (n=908)



意識的に体を動かす内容として、軽い体操をすると答えた人が最も多く、次いで階段を使うだった。

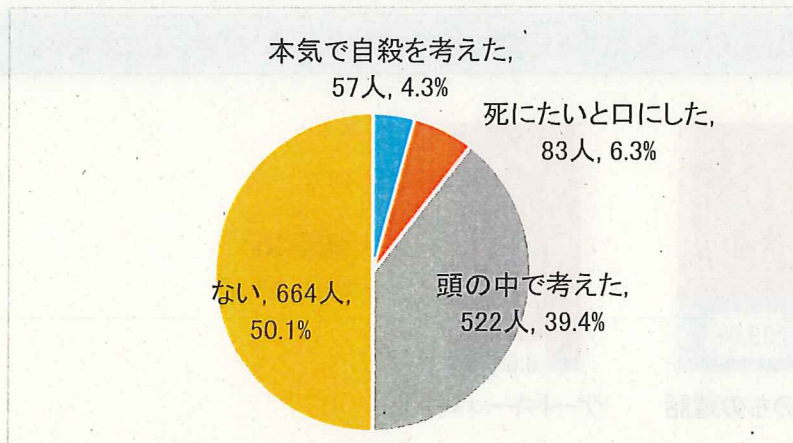
## 【休養・こころの健康について】

(問 28) あなたは現在どのようなストレスや悩みがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



ストレスや悩みが特にないと答えた人が最も多かった。ストレスや悩みの内容としては、人間関係、仕事、身体的要因、経済的要因と様々であった。

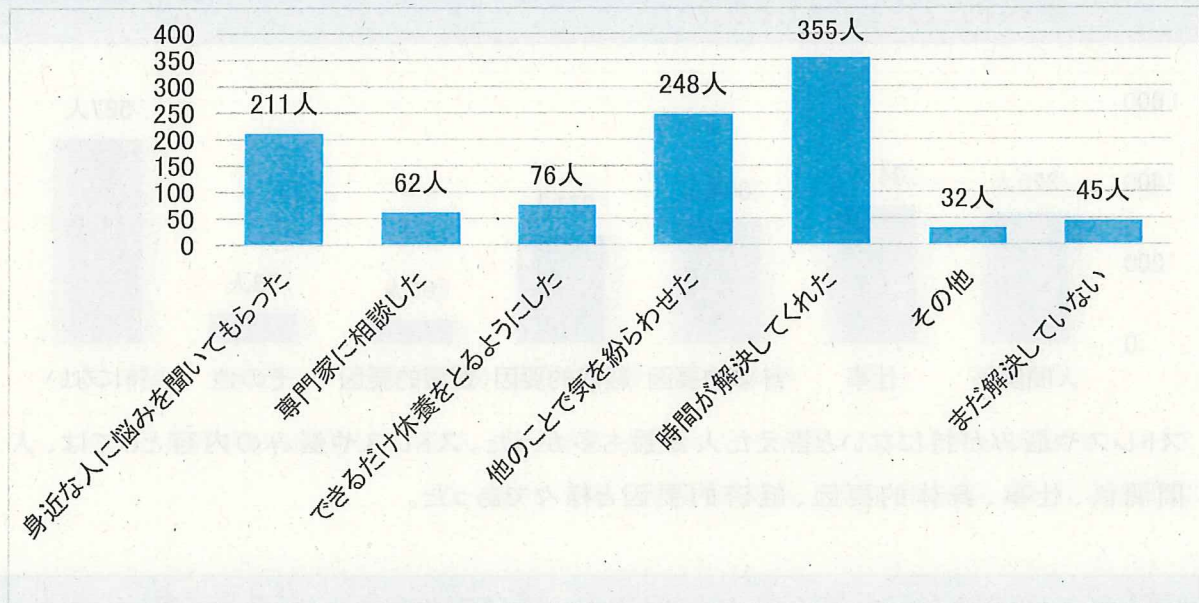
(問 29) あなたはこれまでの人生の中で、思いつめて悩んだことがありますか。



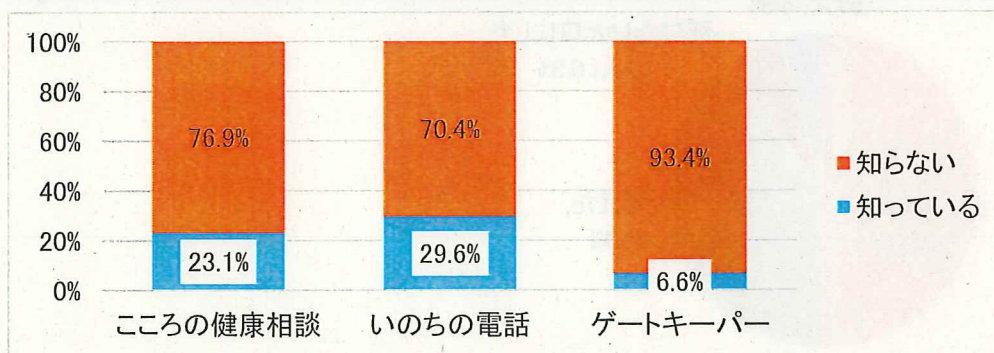
約半数の方が自殺を考えた経験があると回答していた。

(問 30) 問 29 で「1本気で自殺を考えたことがある」「2死にたいと口にしたことがある」「3口には出さず頭の中で考えたことがある」の場合、どのようにして乗り越えましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(n=662)



(問 31) あなたは相談する窓口を知っていますか。(各項目につき、○は1つ)



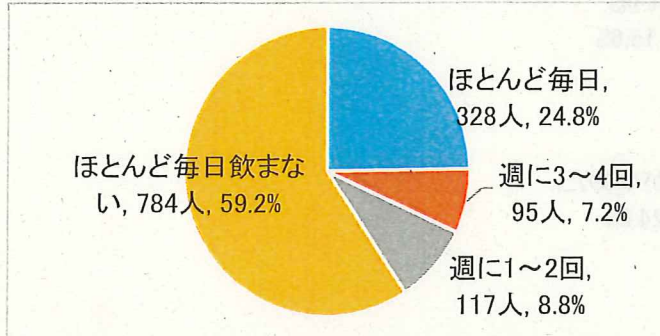
(問 32) あなたは身近な人が悩んでいることに気づいた時に場合にに応じてどのような対応ができますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



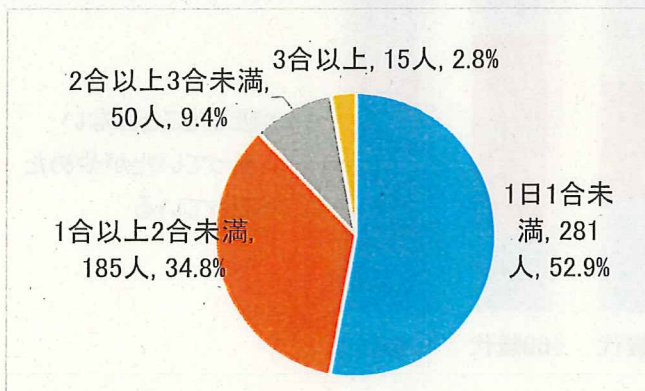
傾聴については、約 6 割の方が対応できると答えている。

## 【飲酒について】

(問 33) あなたは週に何日くらいお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。

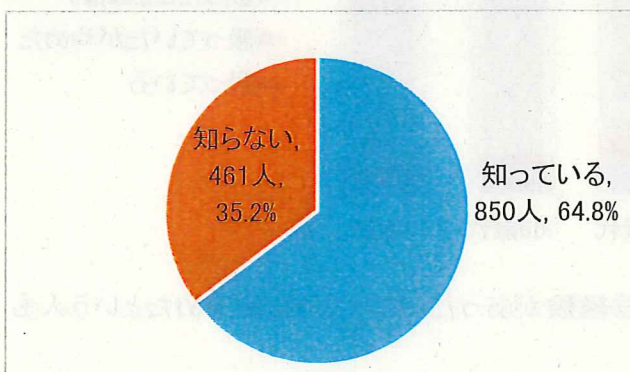


問 34) 問 33 で「1 ほとんど毎日」「2 週に3~4回」「3 週に1~2回」の場合、お酒を飲む日は1日当たりどのくらいの量を飲みますか。(n=540)



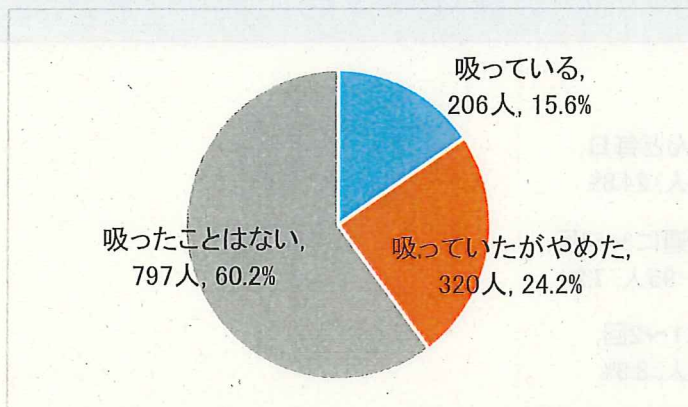
飲酒習慣のある人の約半数が1日1合以上、飲酒をしていた。

(問 35) あなたは「節度ある適度な飲酒」が1日1合程度であることを知っていますか。

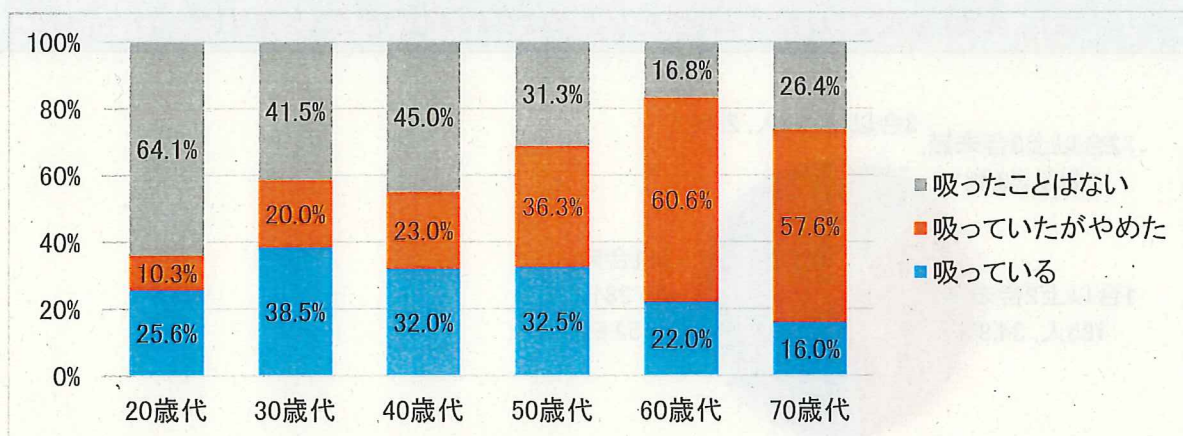


## 【喫煙について】

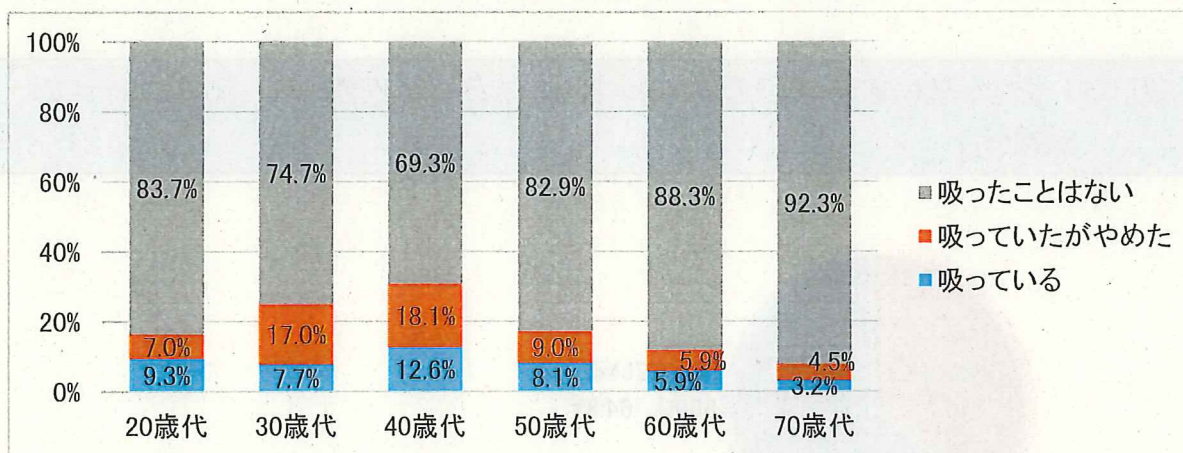
(問 36) あなたはたばこを吸っていますか。



### 男性年代別



### 女性年代別



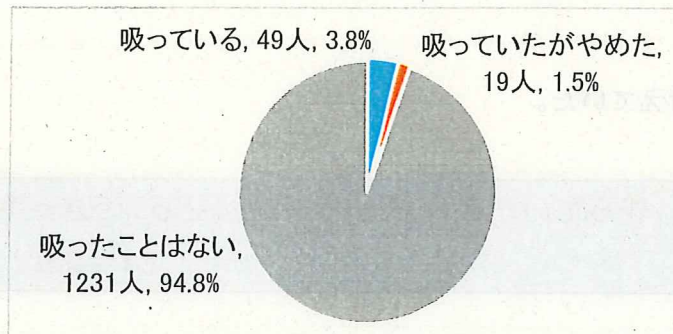
男性は、60歳代で8割以上の方が、喫煙経験があった。吸っていたがやめたという人も6割程度いる。



(問 37) 問 36 で「1 吸っている」「2 吸っていたがやめた」と答えた場合の「吸い始めた年齢」「喫煙年数」「1日あたり喫煙本数」について (n=526)

【吸い始め年齢】 平均値:20.6 歳 最小値:12 歳 最大値:60 歳  
 【喫煙年数】 平均値:25.7 年 最小値:0.5 年 最大値:69 年  
 【1日あたり喫煙本数】 平均値:18.3 本 最小値:1 本 最大値:80 本

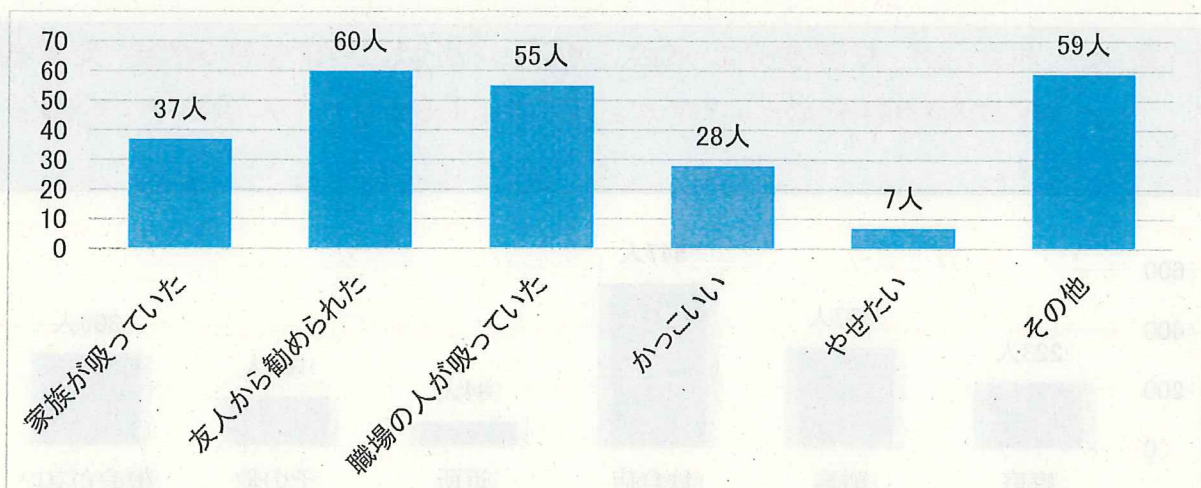
(問 38) あなたは電子たばこを吸っていますか。



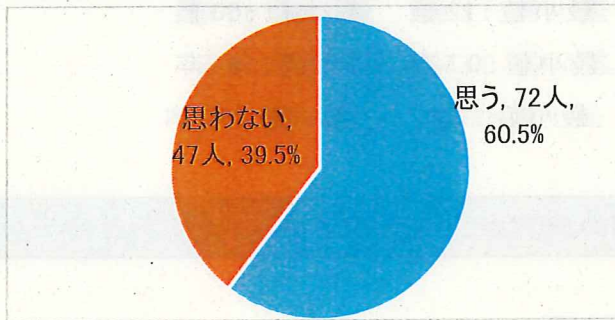
(問 39) 問 38 で「1 吸っている」「2 吸っていたがやめた」と答えた場合の「吸い始めた年齢」「喫煙年数」「1日あたり喫煙本数」について (n=68)

【吸い始め年齢】 平均値:37.1 歳 最小値:16 歳 最大値:72 歳  
 【喫煙年数】 平均値:10.0 年 最小値:0 年 最大値:56 年  
 【1日あたり喫煙本数】 平均値:14.3 本 最小値:1 本 最大値:40 本

(問 40) 問 36 または問 38 で「1 吸っている」「2 吸っていたがやめた」の場合、どのようなきっかけで吸い始めましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 (n=529)

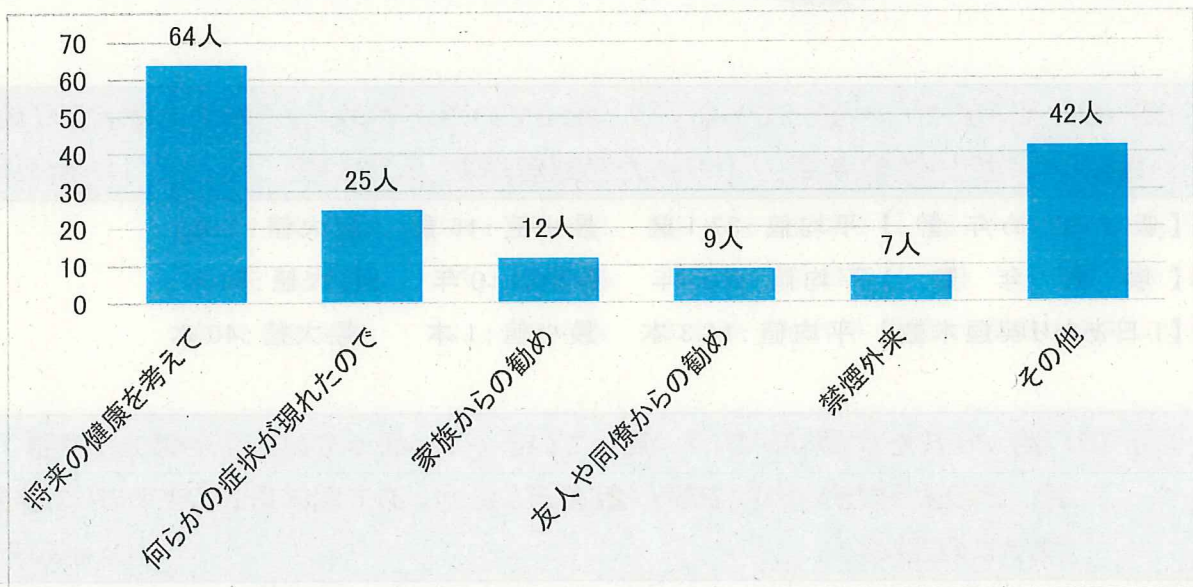


(問 41) 問 36 または問 38 で「1 吸っている」の場合、たばこをやめたいと思いますか。 (n=213)

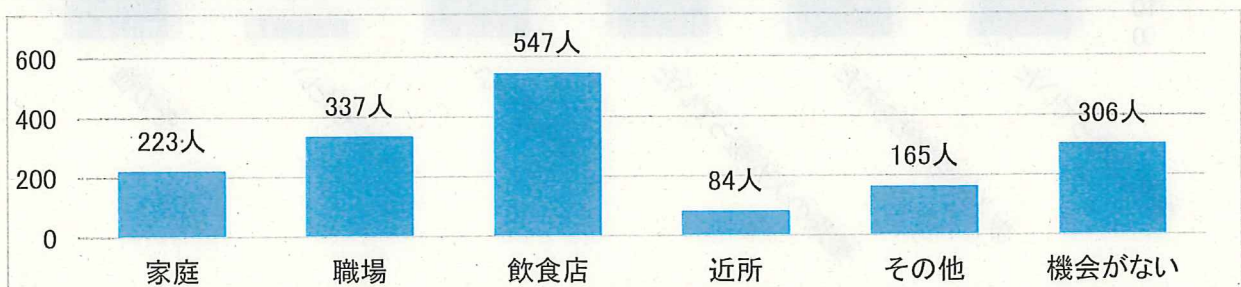


喫煙者の6割がたばこをやめたいと考えていた。

(問 42) 問 36 または問 38 で「2 吸っていたがやめた」の場合、どういうきっかけでやめましたか。 (n=332)



(問 43) あなたが、日頃自分以外の方が吸ったたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がある場所はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



## 【歯・口腔の健康について】

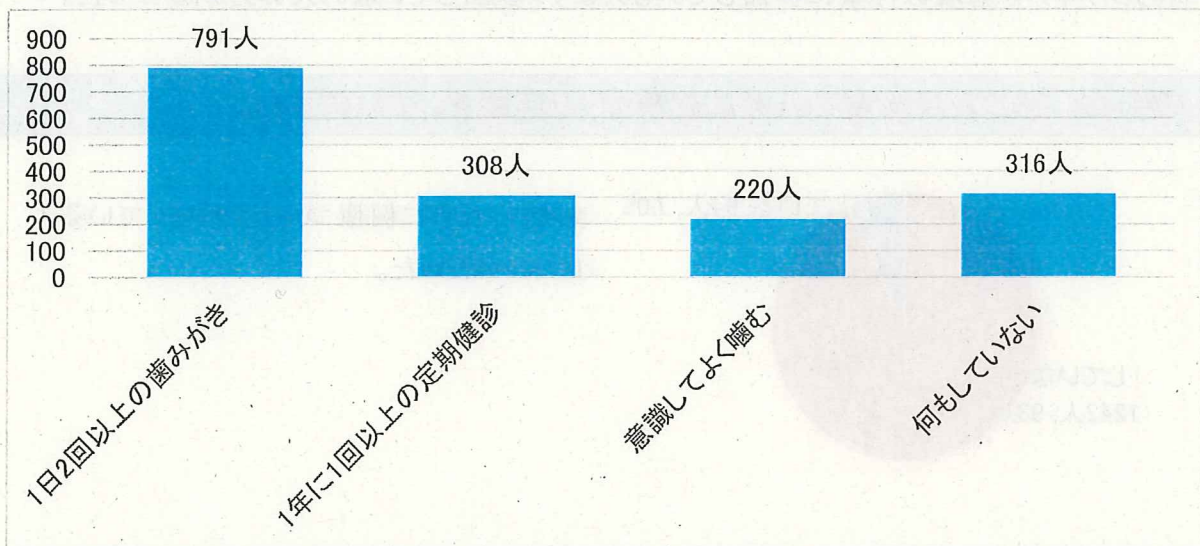
(問 44) あなたは自分の歯が何本ありますか。(通常は親知らずを除いて 28 本です)

平均値 : 23.1 本

最小値 : 0 本

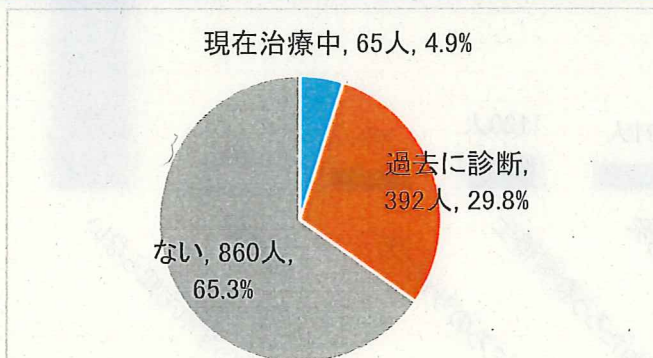
最大値 : 32 本

(問 45) あなたはいつまでも自分の歯で食べることができるように、何を心がけていますか。



自分の歯で食べることができるように歯みがきを心がけている人が約 58%いた。

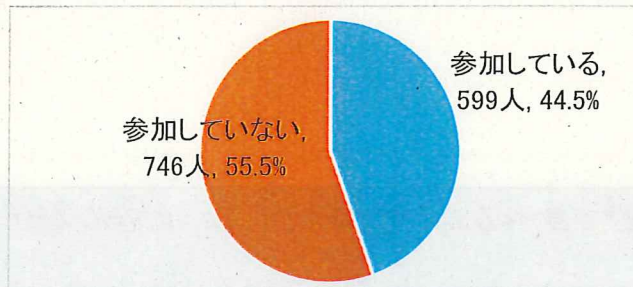
(問 46) あなたは今までに歯周病と診断されたことがありますか。



現在治療中と答えた人は 4.9%だった。

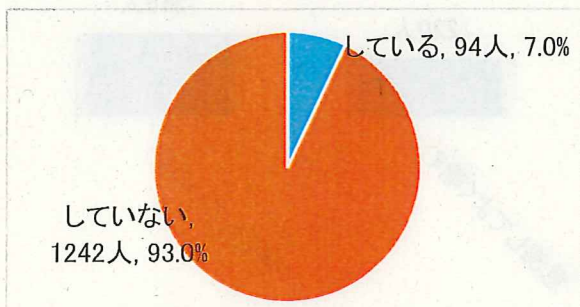
## 【健康づくりや社会環境について】

(問 47) あなたはボランティアや地域の行事など(総会や祭り、道普請など)に参加していますか。



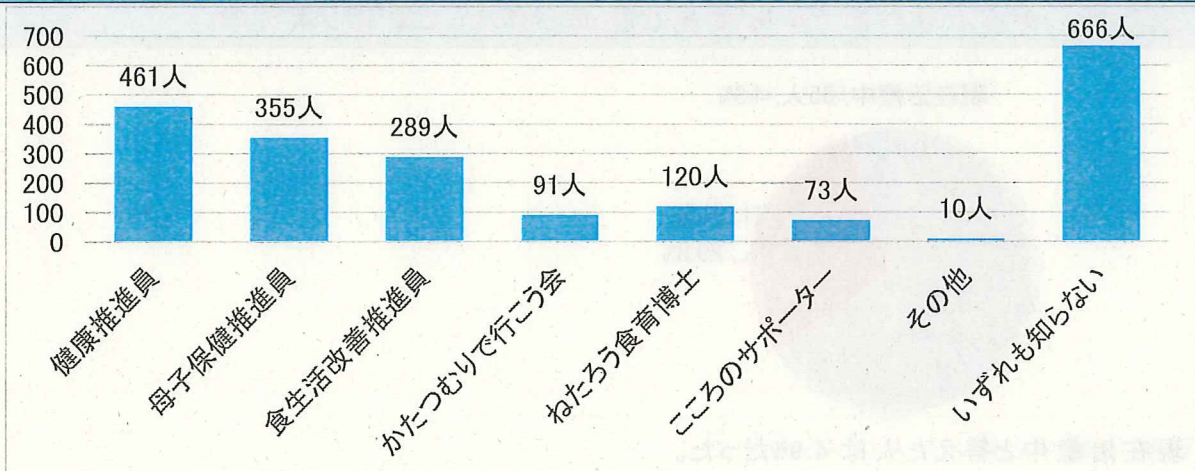
ボランティアや地域の行事に参加している人より、参加していない人の方が多かった。

(問 48) あなたは地域のために健康づくり活動をしていますか。



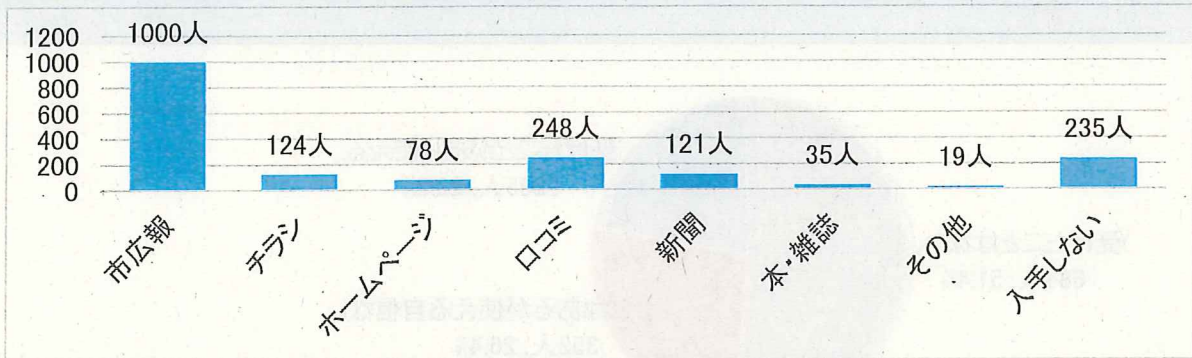
地域のために健康づくり活動をしている人は7.0%だった。

(問 49) あなたは健康づくりの担い手として、地域で活動している以下の組織を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。



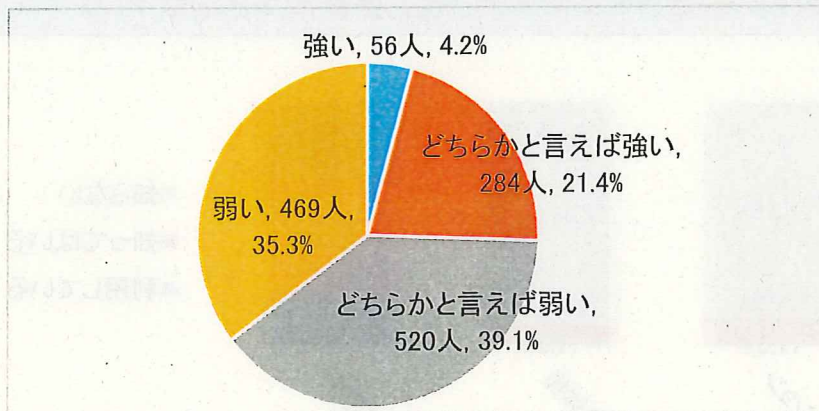
健康推進員を知っている人が最も多かった。

(問 50) あなたは市の健康情報をどこから入手しますか。(複数回答可)



健康情報の入手先として市広報と答えた人が最も多かった。

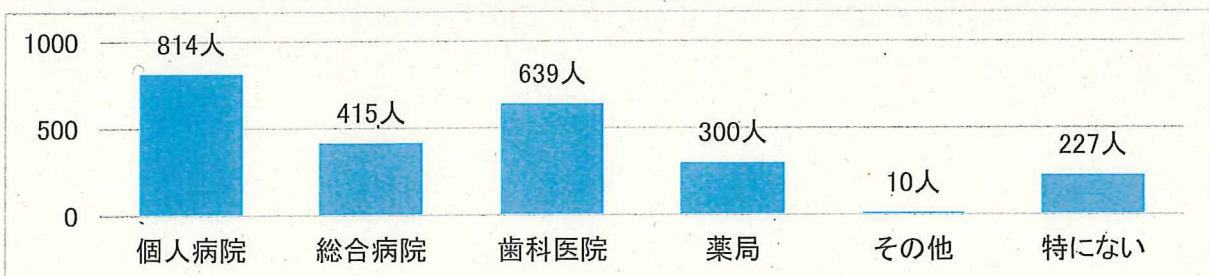
(問 51) あなたは自分と地域のつながりについてどう思いますか。



強い、どちらかと言えば強いと答えた人は、弱い、どちらかと言えば弱いと答えた人よりも少なかった。

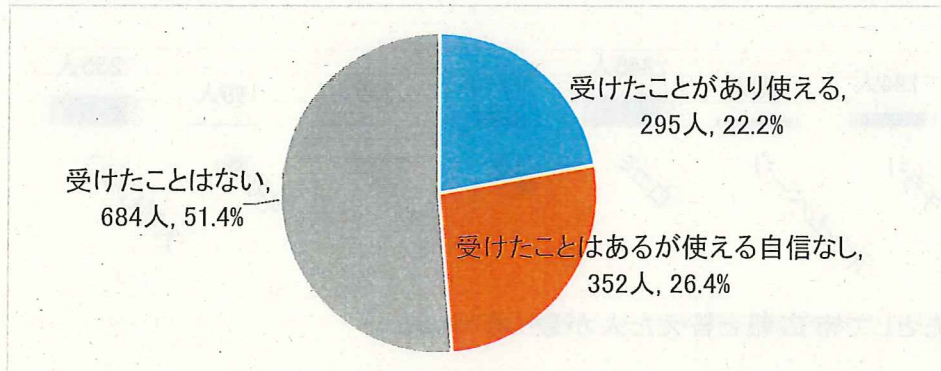
### 【その他】

(問 52) あなたは以下のかかりつけがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

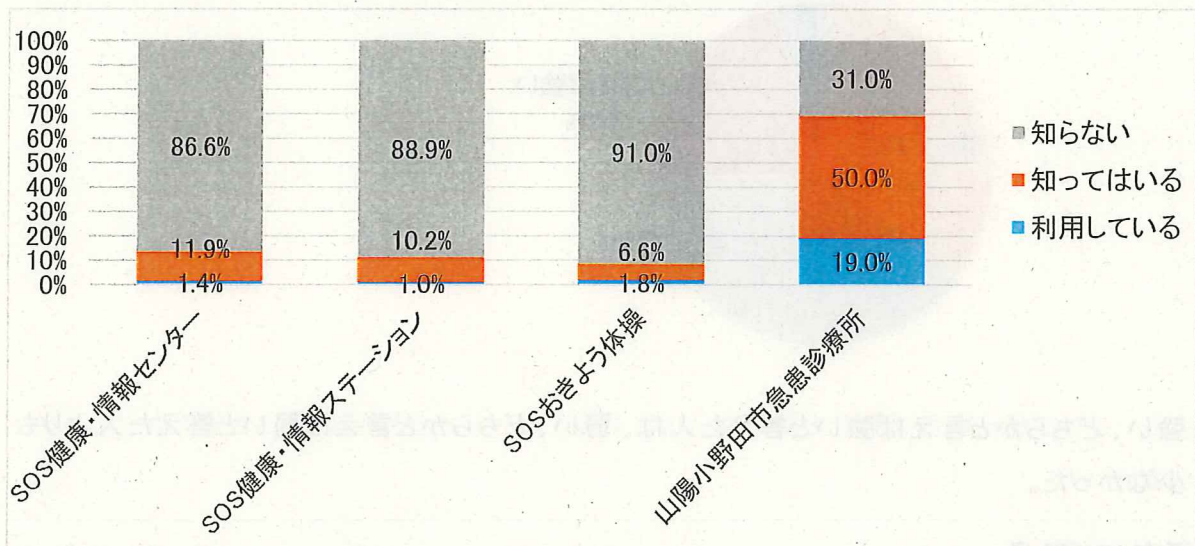


かかりつけとして個人病院と答えた人が最も多く、次いで歯科医院だった。

(問 53) あなたは AED(自動体外式除細動器)の講習を受けたことがありますか。



(問 54) あなたは以下のものを知っていますか。(各項目につき〇は1つ)



山陽小野田市急患診療所を知っている、利用していると答えた人が 69.0%と最も多かった。

## 2 健康づくりに関する市民意識調査表

### 健康づくりに関する市民意識調査

それぞれあてはまる番号に○または数字を記入してください。

問1 性別	1 男	2 女		
問2 年齢	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	
	4 50歳代	5 60歳代	6 70歳代	
問3 お住まいの 校区	1 本山	2 赤崎	3 須恵	4 小野田
	5 高千帆	6 高泊	7 有帆	8 厚狭
	9 出合	10 埴生	11 津布田	12 厚陽
問4 家族構成	1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ	3 親と子(あなたが親)	
	4 親と子(あなたが子)	5 親と子と孫(あなたが親)		
	6 親と子と孫(あなたが子)	7 親と子と孫(あなたが孫)		
	8 その他( )			
問5 職業	1 会社員(役員含む)	2 公務員・団体職員	3 農林水産業従事者	
	4 医療従事者	5 自営業者	6 パートタイム・アルバイト	
	7 学生(浪人を含む)	8 無職(退職後、専業主婦・主夫を含む)		
	9 その他( )			
問6 身長・体重	【四捨五入した整数で回答】 身長( ) cm , 体重( ) kg あなたが思う理想の体重はどれくらいですか ( ) kg			
問7 持病	1 高血圧	2 脂質異常症(コレステロール)	3 糖尿病	
	4 いずれもなし			

問8 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(○は1つ)

1 ある 2 ない

問9 あなたの現在の健康状態を10点満点で表すと何点ですか。(○は1つ)

よくない ← → よい  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

問10 あなたは平均寿命と健康寿命の違いを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている 2 知らない

#### 【健康寿命】

健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のことです。平均寿命から介護状態である期間を差し引いたものが健康寿命となります。平均寿命と健康寿命の間には男性で約9年、女性で約13年の差があります。(健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料より)

問11 あなたは健診(がん検診を除く一般健診・健康診査)を受けたことがありますか。(○は1つ)

1 毎年受けている→問13へ 2 2年に1回は受けている→問13へ  
3 3年に1回以下→問13へ 4 全く受けていない→問12へ

問12 問11で「4 全く受けていない」と答えた方で、最もよくあてはまる理由はどれですか。(○は1つ)

- 1 健診の情報を知らないから
- 2 うっかり受診するのを忘れていたから
- 3 受ける時間がないから
- 4 受ける場所が不便だから
- 5 費用がかかり経済的にも負担になるから
- 6 医療機関に定期的に受診しているから
- 7 毎年受ける必要性を感じないから
- 8 健康状態に自信があり必要性を感じないから
- 9 必要な時はいつでも医療機関を受診できるから
- 10 異常がわかると不安だから
- 11 面倒だから
- 12 その他 ( )

問13 問11で「1 毎年受けている」「2 2年に1回は受けている」「3 3年に1回以下」の場合、あなたは、健診の結果を受けて、生活習慣を見直していますか。(○は1つ)

- 1 見直している→問14へ
- 2 見直そうと思ったがしていない→問15へ
- 3 見直そうとは思わなかった→問15へ
- 4 これまで結果に問題がなく、見直す必要がなかった→問16へ

問14 問13で、「1 見直している」の場合、以下のどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 食事
- 2 運動
- 3 その他 ( )

問15 問13で、「2 見直そうと思ったがしていない」「3 見直そうとは思わなかった」の場合、その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 時間が無い
- 2 必要と思わない
- 3 継続して行うことが難しい
- 4 具体的な方法がわからない
- 5 結果の見方がわからない
- 6 その他 ( )

問16 あなたはがん検診を受けたことがありますか。(○は1つ)

- 1 毎年受けている→問18へ
- 2 2年に1回は受けている→問18へ
- 3 3年に1回以下→問18へ
- 4 全く受けていない→問17へ

問17 問16で「4 全く受けていない」と答えた方で、最もよくあてはまる理由はどれですか。(○は1つ)

- 1 がん検診の情報を知らないから
- 2 うっかり受診するのを忘れていたから
- 3 受ける時間がないから
- 4 受ける場所が不便だから
- 5 費用がかかり経済的にも負担になるから
- 6 医療機関に定期的に受診しているから
- 7 毎年受ける必要性を感じないから
- 8 健康状態に自信があり必要性を感じないから
- 9 必要な時はいつでも医療機関を受診できるから
- 10 がんであると分かるのが不安だから
- 11 面倒だから
- 12 検査に伴う苦痛に不安があるから
- 13 その他 ( )

問18 あなたが、がんになっても自分らしく生活できるために最も必要な支援は何ですか。(○は1つ)

- 1 家族の支え
- 2 働き続けられる職場
- 3 ウィッグなどの支援
- 4 医療に関する情報
- 5 治療の費用
- 6 その他 ( )

【ウィッグ】

抗がん剤治療による脱毛を、自然にカバーできる医療用かつらのこと。



問19 あなたは糖尿病の合併症について知っていますか。合併症だと思うものすべてに○をつけてください。

- 1 神経障害    2 網膜症    3 腎症    4 狭心症・心筋梗塞  
5 脳卒中    6 白内障    7 知らない

問20 あなたが家族や知人と食事を共にする頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- 1 1日に2回以上    2 1日に1回程度    3 週に数回    4 週に1回以下

問21 あなたはどのくらい間食をしますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど毎日    2 週に3~4回程度  
3 週に1~2回程度    4 ほとんど食べない

問22 あなたは間食・夜食をいつしますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 朝食と昼食の間    2 昼食と夕食の間    3 夕食後    4 しない

問23 あなたが朝食を食べる頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- 1 ほとんど毎日    2 週に4~5回程度  
3 週に2~3回程度    4 週に1回以下

問24 あなたは以下のことについて、どの程度心がけていますか。(各項目につき、○は1つ)

	いつも心がけている	時々心がけている	あまり心がけていない	全く心がけていない
野菜を食べること	1	2	3	4
食塩の多い料理を控えること (麺類・加工食品など)	1	2	3	4
薄味で食べること(調味料の使い方)	1	2	3	4
油の多い料理を控えること	1	2	3	4

問25 あなたは1日30分以上の軽く汗をかく運動を、週2回以上していますか。(○は1つ)

- 1 している(1年以上)    2 している(1年未満)  
3 しようとしているがまだ行っていない    4 する気はない

問26 あなたは日常生活で、健康維持増進のために意識的に体を動かすように心がけていますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど毎日    2 週に3~4回程度  
3 週に1~2回程度    4 ほとんどない→問28へ

問27 問26で「1 ほとんど毎日」「2 週に3~4回程度」「3 週に1~2回程度」の場合、あなたは日常生活でどのように体を動かしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 テレビを見ながら体を動かす    2 階段を使う    3 歩幅を広く歩く  
4 早歩きで歩く    5 徒歩や自転車で出かける    6 買い物で遠くに駐車する  
7 軽い体操をする    8 その他( )

問28 あなたは現在どのようなストレスや悩みがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 人間関係    2 仕事  
3 身体的要因(病気や睡眠不足など)    4 経済的要因  
5 環境的要因(天候や騒音など)    6 その他( )  
7 特にない

問29 あなたはこれまでの人生の中で、思いつめて悩んだことがありますか。(○は1つ)

- 1 本気で自殺を考えたことがある    2 死にたいと口にしたことがある  
3 口には出さず頭の中で考えたことがある    4 ない→問31へ

問30 問29で「1 本気で自殺を考えたことがある」「2 死にたいと口にしていたことがある」「3 口には出さず頭の中で考えたことがある」の場合、どのようにして乗り越えましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった
- 2 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した
- 3 できるだけ休養をとるようにした
- 4 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた
- 5 時間が解決してくれた
- 6 その他 ( )
- 7 まだ解決していない

問31 あなたは相談する窓口を知っていますか。(各項目につき、○は1つ)

	知っている	知らない
こころの健康相談統一ダイヤル	1	2
いのちの電話	1	2
ゲートキーパー (こころのサポーター)	1	2

【こころの健康相談統一ダイヤル】 (TEL0570-064-556)

全国どこからでも共通の電話番号に電話すれば、電話をかけた所在地の公的な相談機関に接続されます。

【いのちの電話】 (TEL0120-783-556)

毎月10日、午前8時から翌日午前8時までのフリーダイヤル電話相談。

【ゲートキーパー (こころのサポーター)】

自殺の危険を示すサインに気づき、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることができる人のこと。

問32 あなたは身近な人が悩んでいることに気づいた時に場合に応じてどのような対応ができますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 傾聴する
- 2 共感する
- 3 相談窓口につなぐ
- 4 何もできない

問33 あなたは週に何日くらいお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3~4回
- 3 週に1~2回
- 4 ほとんど飲まない→問35へ

問34 問33で「1 ほとんど毎日」「2 週に3~4回」「3 週に1~2回」の場合、お酒を飲む日は、1日当たりどのくらいの量を飲みますか。(○は1つ)

- 1 1日1合未満
- 2 1合以上2合未満
- 3 2合以上3合未満
- 4 3合以上

【清酒1合(180ml)の目安量】

- ・ビール、発泡酒(アルコール度数:5度) / 500ml
- ・焼酎(25度) / 110ml
- ・缶チューハイ(5度) / 520ml
- ・ウイスキー(43度) / 60ml
- ・ワイン(14度) / 180ml

問35 あなたは「節度ある適度な飲酒」が1日1合程度であることを知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

問36 あなたはたばこを吸っていますか。(○は1つ)

- 1 吸っている→問37へ
- 2 吸っていたがやめた→問37へ
- 3 吸ったことはない→問38へ

問37 問36で「1 吸っている」「2 吸っていたがやめた」の場合、何歳から吸い始めましたか。( ) 歳)

吸っているまたは吸っていた年数は何年ぐらいですか。( ) 年)

また、一日当たりどのくらい吸っています(いました)か。( ) 本/1日)

問38 あなたは電子たばこを吸っていますか。(○は1つ)

- 1 吸っている→問39へ    2 吸っていたがやめた→問39へ  
3 吸ったことはない→問43へ

問39 問38で「1 吸っている」「2 吸っていたがやめた」の場合、  
何歳から吸い始めましたか。(                      歳)

- 吸っているまたは吸っていた年数は何年ぐらいですか。(                      年)  
また、一日当たりどのくらい吸っています(いました)か。(                      本/1日)

問40 問36または問38で「1 吸っている」「2 吸っていたがやめた」の場合、どのようなきっかけで吸い始めましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家族が吸っていたから                      2 友人から勧められた  
3 職場の人が吸っていたから                      4 かっこいいから  
5 やせたいから                                      6 その他 (                                      )

問41 問36または問38で「1 吸っている」の場合、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 思う    2 思わない

問42 問36または問38で「2 吸っていたがやめた」の場合、どういきっかけでやめましたか。  
(○は1つ)

- 1 将来の健康を考えて                      2 何らかの症状が現れたので                      3 家族からの勧め  
4 友人や同僚からの勧め                      5 禁煙外来(相談)  
6 その他 (                                      )

問43 あなたが、日頃自分以外の人が吸ったたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がある場所はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家庭  
2 職場  
3 飲食店(主に居酒屋など)  
4 近所  
5 その他 (                                      )  
6 機会がない

**【受動喫煙】**

喫煙により生じたたばこの先から出る煙(副流煙)を吸入すること。

問44 あなたは自分の歯が何本ありますか。(通常は親知らずを除いて28本です) (                      本)

問45 あなたはいつまでも自分の歯で食べることができるように、何を心がけていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 1日2回以上の歯みがき                      2 1年に1回以上の定期健診  
3 意識してよく噛む                              4 何もしていない

問46 あなたは今までに歯周病と診断されたことがありますか。(○は1つ)

- 1 現在治療中である                      2 過去に診断されたことがある                      3 ない

問47 あなたはボランティアや地域の行事など(総会や祭り、道普請など)に参加していますか。  
(○は1つ)

- 1 参加している                      2 参加していない

問48 あなたは地域のために健康づくり活動をしていますか。(○は1つ)

- 1 している                      2 していない

問49 あなたは健康づくりの担い手として、地域で活動している以下の組織を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

- 1 健康推進員                                      2 母子保健推進員                                      3 食生活改善推進員  
4 かたつむりで行こう会(SOS健康づくり計画運営委員)                      5 ねたろう食育博士  
6 こころのサポーター                              7 その他 (                                      )  
8 いずれも知らない

- 問50 あなたは市の健康情報をどこから入手しますか。(複数回答可)
- 1 市広報 2 チラシ 3 ホームページ 4 口コミ(家族・友人など)  
 5 新聞 6 本・雑誌など 7 その他( )  
 8 入手しない

- 問51 あなたは自分と地域のつながりについてどう思いますか。(〇は1つ)
- 1 強いと思う 2 どちらかと言えば強いと思う  
 3 どちらかと言えば弱いと思う 4 弱いと思う

- 問52 あなたは以下のかかりつけがありますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。
- 1 個人病院 2 総合病院 3 歯科医院 4 薬局  
 5 その他( ) 6 特にない

【かかりつけとは】  
 日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近な医師や薬剤師のことをかかりつけ医、かかりつけ薬局と  
 いいます。あなたのことをよく知っていて、必要なときに専門医に紹介してくれるかかりつけを持つこと  
 をお勧めします。

- 問53 あなたはAED(自動体外式除細動器)の講習を受けたことがありますか。(〇は1つ)
- 1 受けたことがあるので使える  
 2 受けたことはあるが使える自信がない  
 3 受けたことはない

問54 あなたは以下のものを知っていますか。(各項目につき〇は1つ)

	利用(体験)している	知っているが利用(体験)したことはない	知らない
SOS健康・情報センター	1	2	3
SOS健康・情報ステーション	1	2	3
SOSおきよう体操	1	2	3
山陽小野田市急患診療所	1	2	3

【SOS健康・情報センター】  
 人や情報が集中し、賑わいの場となるよう、市民が主体的に事業の推進に関わり、市民の「居場所・役立ち感」達成の場となります。保健センター内にあります。

【SOS健康・情報ステーション】  
 SOS健康・情報ステーションと地域とのパイプ役となり、情報の共有や事業の発信を行います。市内の公的機関や企業、医療機関、趣味やボランティアの団体などがステーションとして登録しています。  
 ←このマークが目印です。

【SOSおきよう体操】 **SOS**  
 市の名所からヒントを得た親しみのあるものを取り入れ、老若男女誰にでもできる体操です。現在、かたつむりで行こう会スポーツ部会と健康増進課を中心に、健康づくりを継続して実践してもらうためのひとつのツールとしてこの体操の普及に努めています。

問55 健康づくりについて、あなたのご意見をお聞かせください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

### 3 用語解説

---

#### あ行

##### 悪性新生物（P 14, 30, 44）

がん並びに肉腫のことで、悪性腫瘍とも呼ぶ。細菌、ウイルスのように外から侵入してくるものではなく、その人本来の細胞が変化したもので、内から発生するもの。

##### エジンバラ産後うつ病質問票（P 51）

エジンバラ産後うつ病自己評価票（Edinburgh Postnatal Depression Scale: EPDS）は、産後うつ病のスクリーニングを目的として、1987年にCoxらが開発した自己記入式質問紙。

##### SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）（P 38, 45）

社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス。

##### SOS おきよう体操（P 36）

市民健康体操。市民の健康増進に役立てるために平成23年（2011年）に作成した。目覚めや今から一日が始まる気持ちをイメージした体操。市内の名所、伝説を模した動作になっている。

##### SOS 健康・情報ステーション（ステーション）（P 1, 29, 31, 46, 47）

第1次計画において、計画の柱となる「情報」と市民の「居場所・役立ち感」を達成するために市内各所に設置されたもの。

##### SOS 健康・情報センター（健康・情報センター）（P 1, 46, 48）

第1次計画において、SOS 健康・情報ステーションの中央駅として健康・情報ネットワークを確立するために設置されたもの。

#### か行

##### 健康寿命（P 11, 14）

「寝たきりや認知症にならない状態で生活できる期間」のことで、平均寿命から支援や介護が必要となる期間を差し引いた寿命のこと。

### 健康推進員（P 50）

一人ひとりの自主的な健康づくりを支援するとともに、地域での健康づくりを推進するリーダー。市が開催する「健康推進員養成講座」の修了者。

### 健康増進法（P 1, 3）

国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本方針を定めた法律で、平成 14 年（2002 年）に制定された。

### 健康マイレージ事業（P 36, 45）

健康寿命の延伸を目指し、行政・企業等が連携して、社会全体で継続して健康づくりを推進するため、市町・医療保険者等と協働して事業を実施している。健（検）診の受診や健康づくり教室等への参加、ウォーキングなどを実践して、ポイントを貯め、特典が受けられるもの。

### 県民意識調査（P 37, 39, 49）

平成 29 年度「健康づくりに関する県民意識調査」のこと。山口県が「健康やまぐち 21 計画（第 2 次）」の推進に向けて、「健康格差の減少」を図るための基礎資料として、県内在住の 20～79 歳の男女 18,941 人を対象とし、平成 29 年 7 月 1 日～7 月 31 日までの期間に実施した調査。

### こころのサポーター（P 38, 51, 52, 53）

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなぎ、見守る）を図ることができる人のこと。ゲートキーパーと同様の意味。

## さ行

### 自殺対策基本法（P 2, 3）

自殺の予防と防止、自殺者の親族等に対する支援の充実を目的として、平成 18 年（2006 年）に制定された。

### 受動喫煙（P 32, 39, 40）

喫煙により生じた副流煙（たばこの先から出る煙）、呼出煙（喫煙者が吐き出した煙）を発生源とする、有害物質を含む環境たばこ煙（ETS）に曝露され、それを吸入すること。

### 食生活改善推進協議会（P 50）

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、自分や家族、そして地域の食生活改善（食育）をめざし、食を通じた健康づくりのためのボランティア団体。市が開催する「食生活改善推進員養成講座」の修了者である食生活改善推進員で構成。

### 生活習慣病（P 10, 14）

食事や運動、喫煙、飲酒、ストレスなどの生活習慣が深く関与して発症する疾患の総称。脳血管疾患、心疾患、および脳血管疾患や心疾患の危険因子となる動脈硬化症、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などはいずれも生活習慣病。

### ソーシャル・キャピタル（P 1, 7, 49）

人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴。

## た行

### 地域自殺実態プロフィール（P 26）

自殺総合対策推進センターにおいて、すべての都道府県及び市町村それぞれの自殺の実態を分析したもの。

### 特定健康診査（P 44）

メタボリックシンドロームの状態を早期にみつけるための健康診査。国の特定健康診査等基本方針に即して各保険者が作成する特定健康診査等実施計画に基づき、40歳～74歳の被保険者およびその被扶養者を対象に行う。

## は行

### BMI (ビイエムアイ) (P 44)

Body Mass Index (体格指数) の略で、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出される体格の状況を示す指数。判定基準は、18.5 未満で「低体重(やせ)」、18.5 以上 25 未満で「普通体重」、25 以上で「肥満」となる。

### 母子保健推進協議会 (P 50)

地域における子育て支援の担い手として「子育て輪づくり活動」等、自主的な組織活動を行っている団体。市から委嘱を受けた母子保健推進員で構成。

### パブリックコメント (P 5)

市の施策立案の過程で、市民から意見を公募し、その意思決定に反映させることを目的とする制度。

## ま行

### メタボリックシンドローム (P 44)

内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に高血糖・高血圧・脂質異常症のうち2つ以上の症状が一度に出ている状態をいう。



## や行

### 要介護・要支援者 (P 18, 30)

介護保険法に基づく介護保険サービスを受ける際の分類で、要支援は日常生活に見守り支援を必要とする状態の者。要介護は日常生活において介護を必要とする状態の者。



## ら行

### ライフステージ（P 34, 45）

年齢に伴って変化する生活段階のこと。年代別の生活状況。人間の一生における出生から、就学、就職、結婚、出産、子育て、退職など、人生の節目にあって、生活スタイルが変わることや、これに着目した考え方をいう。

### レセプト（P 18, 30）

患者が受けた保険診療について、医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療報酬の明細書。

### 6024（ロクマルニイヨン）・8020（ハチマルニイマル）（P 31, 42）

歯科健康目標として、60歳で24本以上、80歳で20本以上の歯を残そうとするのが主目的の歯科に関する取組の運動。厚生労働省や日本歯科医師会により推進されている。

永久歯の数は28本で第三大臼歯（親知らず）の4本を合わせると32本となる。



項目	内容	備考	その他
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康
歯の健康	歯の健康	歯の健康	歯の健康

## 4 市民ワークショップ

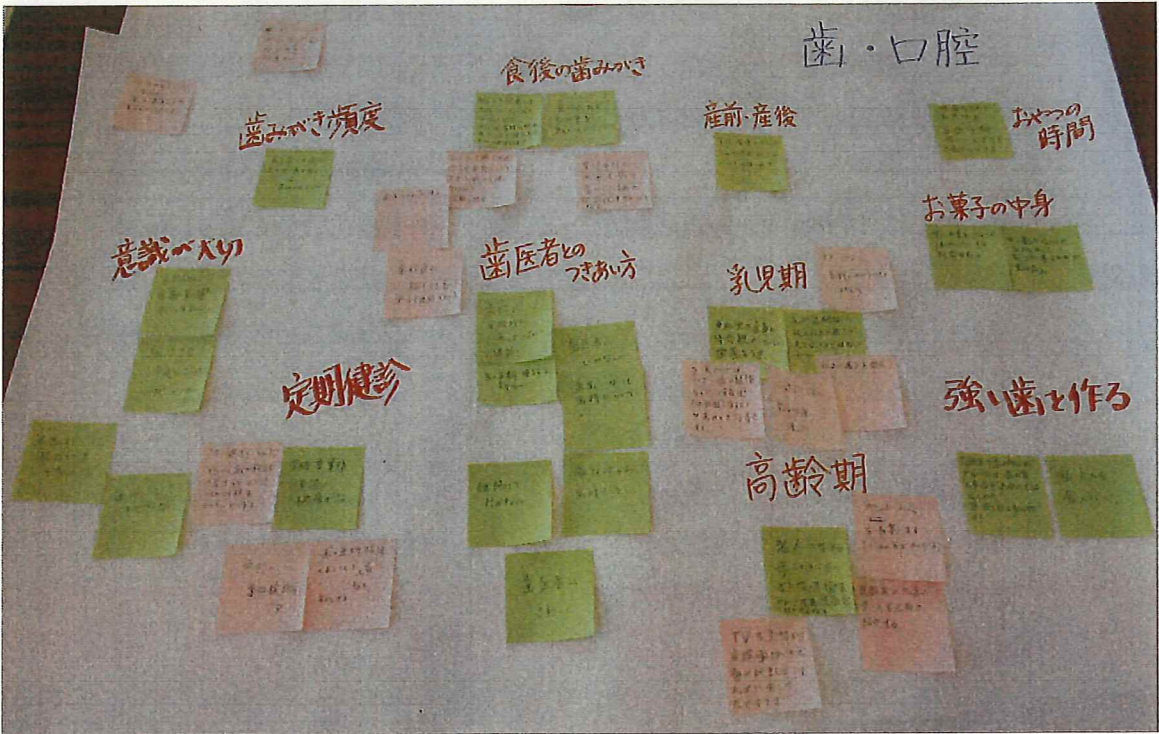
- 1 目的 健康増進法に基づく健康増進計画の策定において、市民とともに市の課題や地域の個性を共有し、市の課題に対する対策等、広く市民からの意見を反映させることを目的とする。
- 2 日時 平成30年（2018年）8月7日（火）  
18時00分～19時30分
- 3 場所 山陽小野田市役所大会議室
- 4 参加者 23人
- 5 方法 「食生活」「運動・身体活動」「ところ・休養」「たばこ・アルコール」「歯・口腔」「健康管理・がん検診・特定健診」の6つのグループに分かれてのグループワーク
- 6 内容 (1)山陽小野田市の健康づくりについての課題の共有  
(2)グループワーク①  
「健康課題の背景・理由について考えてみよう」  
(3)グループワーク②  
「健康課題を解決するにはどんなことをすればよいか考えてみよう」

### 7 グループワークで協議した内容（抜粋）

分野	検討課題	原因等	対策
食生活	肥満を予防するためには	・意識不足 ・環境 ・家族構成	・健康状態の振り返り ・野菜を食べることのメリットの普及啓発 ・職場で朝食タイムの設定 ・性別に関係なく子どもの頃から調理をする習慣

分野	検討課題	原因等	対策
運動	運動しない人が運動をし、さらに継続するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所や機会の情報不足と数</li> <li>・身体的な要因</li> <li>・時間がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所の提供</li> <li>・仲間づくり</li> <li>・体に負担の少ない運動の情報提供</li> <li>・就業中に体操をする</li> </ul>
こころ 休養	睡眠による休養を十分とってもらうためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係、コミュニケーション不足</li> <li>・余裕のなさ</li> <li>・環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談できる場の確保</li> <li>・地域での声かけ、見守り</li> <li>・交流できる機会の提供</li> </ul>
たばこ	喫煙者を減らし、受動喫煙を減らすためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習慣化</li> <li>・意志</li> <li>・ストレス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識の普及</li> <li>・禁煙への支援</li> </ul>
アルコール	お酒に関する正しい知識を普及させるためには		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンアルコールの上手な利用</li> <li>・適量飲酒キャンペーン</li> </ul>
歯 口腔	う歯や歯肉炎を減らすためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識の低さ</li> <li>・仕上げ磨き不足</li> <li>・かかりつけ医がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識の普及</li> <li>・歯磨きの習慣づけ</li> <li>・かかりつけ医を持つ</li> <li>・定期的な健診受診</li> </ul>
健康管理 がん検診 等	検診・健診を受けてもらうためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の苦痛</li> <li>・交通手段のなさ</li> <li>・意識の低さや勘違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知り合いや友人を誘って検診を受診する</li> <li>・正しい知識の普及</li> <li>・検診に関する情報の提供</li> </ul>

グループワークでの協議内容



## 5 山陽小野田市第2次健康増進計画検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 山陽小野田市第2次健康増進計画（以下「健康増進計画」という。）の策定に当たり、市民の意見、提言等を反映させるため、山陽小野田市健康増進計画検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 健康増進計画の策定に関すること。
- (2) その他市長が必要と認める事項に関すること。

### (委員)

第3条 委員会の委員は25人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 健康増進に関する団体又は事業者の代表者
- (2) 公募により選出された者
- (3) その他市長が必要と認める者

### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から健康増進計画の策定が終了する日までとする。

### (役員)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を1人置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、議長となる。ただし、委員の全員が新たに委嘱された後、最初に行われる会議は、市長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。
- 4 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、福祉部健康増進課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成30年6月13日から施行する。

(要綱の失効)

- 2 この要綱は、健康増進計画が策定されたときに失効する。

## 6 山陽小野田市第2次健康増進計画検討委員会名簿

任期：平成30年7月20日～計画策定が終了する日まで

	氏名	団体名	担当分野
1	あいもと まゆみ 相本 まゆみ	山口宇部農業協同組合	食生活
2	いしなが むねあき 石永 宗昭	SOS健康・情報モデルステーション (山口ヤクルト販売株式会社)	食生活
3	いのうえ さちこ 井上 幸子	山陽小野田市連合女性会	歯・口腔
4	うえき とおる 植木 亨	山口県精神保健福祉士協会	こころ
5	おおばやし ゆきえ 大林 幸恵	山口県看護協会小野田支部	こころ
6	おおもと あきお 大本 章男	山陽小野田市ふるさとづくり協議会	こころ
7	おおやま かよこ 大山 嘉代子	一般公募	運動
8	かわぐち たくや 河口 拓也	山陽小野田市社会福祉協議会	こころ
9	かわさき まさのぶ 川崎 雅信	山陽小野田市小・中学校PTA連合会	運動
10	かわばた あきひろ 川端 章弘	小野田医師会	たばこ アルコール
11	こが たけし 古賀 剛	一般公募	たばこ アルコール
12	こばやし まり 小林 まり	山口県栄養士会宇部地域専門部会	食生活
13	こやなぎ ともはる 小柳 朋治	SOSかたつむりで行こう会	歯・口腔
14	たけしげ さやか 竹重 紗耶香	山陽小野田市保育協会	歯・口腔
15	たけだ けん 武田 健	山口東京理科大学	運動
16	ちちまつ まさとし 千々松 正俊	山陽小野田市自治会連合会	たばこ アルコール
17	なかね ひろし 中根 比呂志	厚狭郡医師会	こころ
18	はんや さちこ 半矢 幸子	山陽小野田市食生活改善推進協議会	食生活
19	ふじもと ふみこ 藤本文子	山口県歯科衛生士会山陽小野田支部	歯・口腔
20	ふじわら さとる 藤原 哲	山陽小野田薬剤師会	たばこ アルコール
21	みと ひろし 三戸 洋	山口県理学療法士会	運動
22	もりた せつこ 守田 節子	山陽小野田市老人クラブ連合会	運動
23	やまさき てつろう 山崎 哲朗	厚狭歯科医師会	食生活
24	やまだ ふみたか 山田 文隆	小野田歯科医師会	歯・口腔
25	よしだ ゆみこ 吉田 由美子	山陽小野田市母子保健推進協議会	たばこ アルコール

(敬称略・50音順)

## 7 山陽小野田市第2次健康増進計画検討委員会会議

	協 議 内 容
第1回  平成30年 7月31日(火) 第二委員会室	(1)第2次健康増進計画の概要及び計画策定スケジュールについて  (2)第1次健康増進計画(SOS健康づくり計画)最終評価結果及び健康づくりに関する市民意識調査の集計分析結果の共有  (3)第2回計画検討委員会の進め方について
第2回  平成30年 8月28日(火) 大会議室	(1)共有したい「健康づくり」のイメージについて (2)各担当分野の健康課題の対策について考えよう(グループワーク) (3)「5大疾病を考慮して対策を考えよう」(グループワーク) (4)健康管理・検診(健診)分野の対策について考えよう(グループワーク)
第3回  平成30年 9月18日(火) 第一委員会室	(1)各担当分野の健康課題の対策について深めよう(グループワーク) (2)各担当分野以外の健康課題の対策について考えよう(グループワーク) (3)各担当分野の目標項目と目標値について考えよう(グループワーク) (4)健康増進計画の基本理念等について (5)山陽小野田市の自殺の現状分析について
第4回  平成30年 10月16日(火) 大会議室	(1)第2次山陽小野田市健康増進計画(案)の検討



< 検討委員会の様子 >



## 8 山陽小野田市健康づくり推進協議会規則

平成17年3月22日

規則第117号

改正 平成18年3月31日規則第17号

平成20年3月31日規則第24号

平成22年3月31日規則第18号

平成25年3月12日規則第4号

平成30年3月30日規則第14号

(趣旨)

第1条 この規則は、山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例(平成17年山陽小野田市条例第30号)第3条の規定に基づき、山陽小野田市健康づくり推進協議会(以下「協議会」という。)の組織、運営その他必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 協議会の委員は、20人以内とし、健康づくりに関連する団体に所属する者及び公募により選出された市民のうちから市長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第3条 協議会には、会長及び副会長を各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、市長の請求に基づき、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第5条 会長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明又は意見を聴くことができる。

(結果の報告)

第6条 会長は、会議が終了したときは、その結果を市長に報告しなければならない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、福祉部健康増進課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成17年3月22日から施行する。

附 則 (平成18年3月31日規則第17号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月31日規則第24号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月31日規則第18号) 抄

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年3月12日規則第4号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月30日規則第14号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

## 9 山陽小野田市健康づくり推進協議会規則

平成30年10月1日現在

	氏 名	団 体 名
1	あいもと まゆみ 相 本 まゆみ	山口宇部農業協同組合
2	あかせ ちえこ 赤 瀬 千恵子	山口県看護協会小野田支部
3	いのうえ さちこ 井 上 幸 子	山陽小野田市連合女性会
4	かわさき まさのぶ 川 崎 雅 信	山陽小野田市小・中学校PTA連合会
5	かわぐち たくや 河 口 拓 也	山陽小野田市社会福祉協議会
6	かわばた あきひろ 川 端 章 弘	小野田医師会
7	きくたけ みわ 菊 竹 美 和	山口県栄養士会宇部地域専門部会
8	そせ まもる 曾 瀬 護	市民代表
9	たけだ けん 武 田 健	山口東京理科大学
10	ちちまつ まさとし 千々松 正 俊	山陽小野田市自治会連合会
11	なかね ひろし 中 根 比呂志	厚狭郡医師会
12	はんや さちこ 半 矢 幸 子	山陽小野田市食生活改善推進協議会
13	ひらき ゆうざぶろう 平 木 雄 三 郎	小野田歯科医師会
14	ふくだ じゅんこ 福 田 順 子	市民代表
15	ふじもと ふみこ 藤 本 文 子	山口県歯科衛生士会山陽小野田支部
16	まつざわ すすむ 松 澤 進	山陽小野田薬剤師会
17	もりた せつこ 守 田 節 子	山陽小野田市老人クラブ連合会
18	やまさき てつろう 山 崎 哲 朗	厚狭歯科医師会
19	やまだ よしたか 山 田 義 隆	山陽小野田市ふるさとづくり協議会
20	よしだ ゆみこ 吉 田 由美子	山陽小野田市母子保健推進協議会

(敬称略・50音順)